

2020 年度

M6 カリキュラム

クリニカル・クラークシップ phase II B
アドヴァンスト・エレクティヴズ（自由選択実習）
研究室実習

医学総括

（コースガイド）

これは、令和 2 年 4 月 24 日時点のシラバスです。2020 年度の対応について赤文字の注釈が入っていますので注意してください。また、今後の状況の変化に伴い、カリキュラム、時間割等、随時変更になる可能性があるため、学類からのメール、manaba、医学類 web 時間割を確認してください。

2020 年 4 月～2021 年 3 月

2015 年度入学 第 42 回生用

2016 年編入学 編入学 16 回生用

筑波大学 医学群 医学類

目 次

卒業時コンピテンシー	i
卒業時コンピテンシー・マトリックス	ii
医学類カリキュラムの概要	iii
1. M6 カリキュラムの概要	1
2. M6 クリニカル・クラークシップ (Phase II B) (医学専攻のみ)	1
3. 医療概論 V	1
4. アドヴァンスト・エレクティブ (医学専攻のみ)	1
4-1 コースの概要	
4-2 筑波大学卒業時コンピテンシーとの関連	
4-3 コースの達成目標	
4-4 学習の進め方	
4-5 評 価	
5. 研究室実習 (新医学専攻のみ)	4
5-1 コースの概要	
5-2 筑波大学卒業時コンピテンシーとの関連	
5-3 コースの達成目標	
5-4 学習の進め方	
5-5 評 価	
6. 医学総括	4
6-1 コースの概要	
6-2 筑波大学卒業時コンピテンシーとの関連	
6-3 コースの達成目標	
6-4 学習の進め方	
6-5 評 価	
6-6 学習項目	6
コース # 1 運動系臨床	6
コース # 2 眼系臨床	6
コース # 3 耳鼻咽喉系臨床	7
コース # 4 皮膚系臨床	7
コース # 5 精神臨床	8
コース # 6 呼吸系臨床	9
コース # 7 循環系臨床	11
コース # 8 消化系臨床	13
コース # 9 血液系臨床	15
コース # 10 自己免疫系臨床	16
コース # 11 神経系臨床	17
コース # 12 内分泌代謝系臨床	18
コース # 13 腎・泌尿系臨床	20
コース # 14 診断治療総論 I	22
コース # 15 診断治療総論 II	23
コース # 16 小児臨床	25
コース # 17 婦人・周産期臨床	28
コース # 18 人間集団医学	30
コース # 19 感染症	32

コース #20 医療総論	33
7. 卒業試験と卒業認定要件	36



筑波大学医学群医学類 理念と卒業時コンピテンシー

本学の教育カリキュラムは、下記の教育理念のもと、卒業時に到達すべき6つの領域のコンピテンシーを設定しています。

理 念

将来すぐれた専門医、医学教育者、医学研究者あるいは保健・医療・福祉行政者として、それぞれの分野でグローバルな活躍をもって社会に専任し貢献するために、基礎的な臨床能力と医学研究能力を備え、高い問題解決能力と良好なコミュニケーション力をもって、患者の立場を配慮した医療を行える人間性豊かな医師を育成する。

卒業時コンピテンシー

プロフェッショナリズム

筑波大学医学群医学類生は卒業時に豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識と倫理観を有し、人の命と健康を守る医師になる者としての自覚と責任感をもって医療を実践できる。常に向上心を持ち、審察を行い、生涯にわたり自己研鑽を続けることができる。

1. 社会規範を遵守するとともに、医師の責務と法的な理解に基づき、研究倫理・医療倫理の原則に基づいて行動できる。
2. 豊かな人間性をもって、患者とその家族に対し思いやりと敬意を示し、常に患者中心の立場に立って考え、利他的、共感的、誠実に対応できる。
3. 社会全体のニーズとその変化に目を向け、医療資源の公正な分配と、医療の質の向上に努めることができる。
4. 自らを振り返り、自身の心身のコンディションをコントロールし、意欲を持って自己の向上を図ることができる。

科学的思考

筑波大学医学群医学類生は卒業時に事象について、好奇心・探究心を持って科学的な視点でとらえらるとともに、未知の問題を解決するための科学的な方法を理解できる。

1. 常に好奇心や探究心をもって事象をとらえ、科学的思考に基づいて解釈できる。
2. 研究の枠組みを理解し、課題を解決するための方法論を説明できる。
3. 医学の知識を病態や症状、治療と関連付けて理解し、問題解決に取り組むことができる。

コミュニケーション

筑波大学医学群医学類生は卒業時に多職種を含むチームで連携し患者中心の医療を提供するために、患者やその家族、およびチームメンバーとの間で適切にコミュニケーションをとることができる。

1. 患者およびその家族を全人的に理解し、様々な背景をもつ患者に共感、敬意、思いやりをもって接し、適切なコミュニケーションをとることができる。
2. 保健・医療・福祉など様々な場においてチームメンバーを尊重して適切にコミュニケーションをとり、多職種と効果的に連携できる。

診療の実践

筑波大学医学群医学類生は卒業時に医療の基礎となっている基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学の知識を有し、それを応用して、患者の問題を全人的に理解し、それを解決するための適切な診療を実践できる。

1. 診療の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学などの医学知識を有し、問題解決に応用できる。
2. 一般的な診療の場において、患者の主要な病歴を系統的に正確に聴取できる。
3. 患者の病歴にあわせて適切に身体診察を実施し、所見の解釈ができる。
4. 基本的な臨床手技を安全に実施できる。
5. 臨床推論の考え方に基づき、収集した医学情報から鑑別診断を行い、検査計画を立案し、その結果を解釈できる。
6. 基本的な治療計画を立案できる。
7. Problem Oriented System に基づく診療録を記載することができる。
8. 診療情報の共有のために、その場に応じたプレゼンテーションができる。
9. Evidence-based medicine (EBM) の手法を活用して、臨床において生じた疑問について必要な情報を収集して吟味し、患者への適用を提案できる。
10. 医療安全の基本概念を理解した上で、患者および医療従事者にとって良質かつ安全な医療を提供する意識をもち、実践できる。

医療の社会性

筑波大学医学群医学類生は卒業時に人間個体はもちろん、地域・社会あるいは人類全体の問題を広くとらえ、保健・医療・福祉の関連法規、制度、システム、資源を理解した上で、社会基盤に基づく地域・社会の健康を支える活動を実践できる。

1. 地域・集団の健康に関する問題を科学的に分析し、問題解決に取り組むことができる。
2. 保健・医療・福祉に関する関連法規、制度、組織、専門職を理解したうえで活用し、医療経済を考慮した活動を実践できる。
3. 地域のニーズを把握し、地域の特性を活用して地域医療に貢献できる。
4. 予防の視点をもち、個人・集団を対象とした予防活動を実践できる。

未来開拓力

筑波大学医学群医学類生は卒業時に自身の未来を切り拓き、広く社会に貢献するために、グローバルな視野を持ち、困難な状況においてもたくましくしなやかに、積極果敢に挑戦する姿勢を示す。また、「教育の筑波」としての伝統を継承し、情熱をもって教育を実践し、周囲と協働してリーダーシップを発揮できる。

1. グローバルな課題に目を向け、多様性を受け入れつつ、国内外から広く情報を収集し英語で発信できる。
2. 目の前の困難な課題に対し、創意工夫を凝らして粘り強く解決にあたることができる。
3. 自らの考えを明確化し、適切な方法で情報発信できる。
4. 場に応じて積極的に教育を実践するとともに、教育を通して自らの学びを深めることができる。
5. チームメンバーと協働し、目標の達成に向けてリーダーシップを発揮できる。



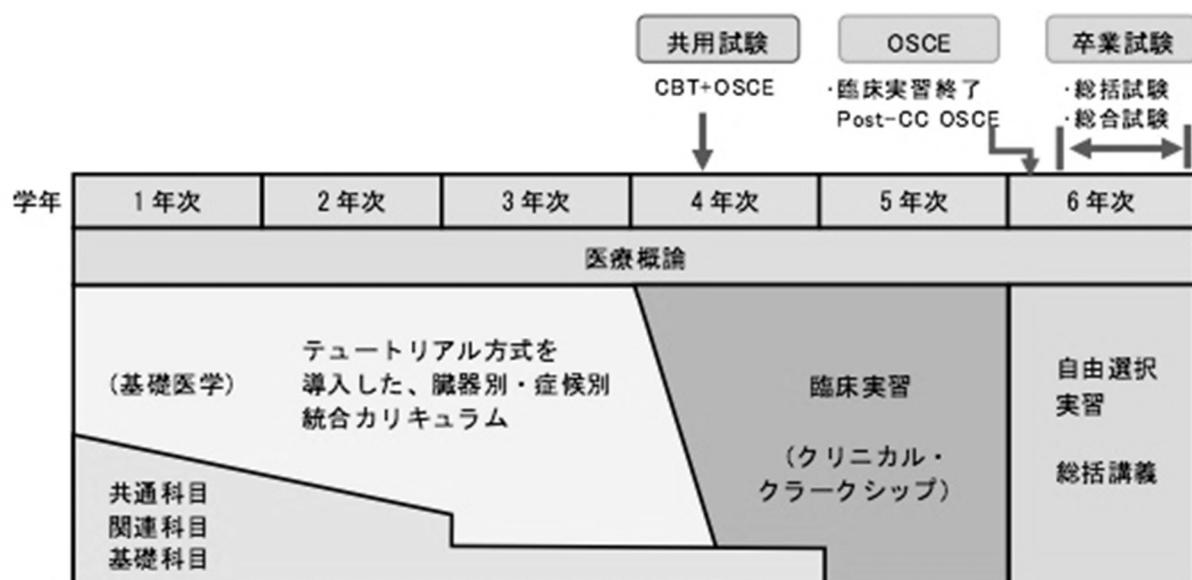
IMAGINE THE FUTURE.

筑波大学医学群医学類の卒業時コンピテンシー・マイルストーン

コンピテンシーの領域	コンピテンシー	Level 1	Level 2	マイルストーン	Level 3 (卒業レベル)	Level 4 (Advanced)
プロフェッショナル	1. 社会規範を遵守するとともに、医師の責務と法的な理解に基づき、研究倫理・医療倫理の原則に基づいて行動することができる。 2. 豊かな人間性をもって、患者とその家族に対し思いやりと敬意を示し、常に患者中心の立場に立つて考え、利他的、共感的の態度に対応できる。 3. 社会全体の医療ニーズと医療資源の公平な分配に則して、医療の質の向上に努めることのできる。 4. 自ら振り返り、自身自身のコンピテンシーをコントロールし、意欲を持って自己の向上を図ることができる。	社会人としての一従業者・常態を身につけ、その場における責任に則した行動ができる。 豊かな人間性をもって、患者とその家族に対し思いやりと敬意を示すことができる。 社会全体の医療ニーズと医療資源の公平な分配に則して、内外の問題意識を養うことができる。 振り返り・セルフアセスメントの基本的な考え方をおよびその必要性を理解し、探究心をもって学業をこらえ科学的に検証する重要性を理解できる。	実習や事例学習において、倫理的課題を解決するために適切な文脈や書籍を参照することができる。	利益相反を正しく理解し、社会規範を遵守する。学術活動/診療の場において、研究倫理/医療倫理の原則に基づいて行動できる。 医師のプロフェッショナルに則し、常に患者中心の立場に立つて考え、利他的、共感的の態度に対応できる。 社会全体の医療ニーズと医療資源の公平な分配のために、医療者が心にかけるべきことを列挙し、医療の質の向上に努めることのできる。 常に振り返りを通して自らの課題を明らかにし、その後生活から学びのチャンスを察し、意欲的に自己の向上にむけて行動できる。	指導者の指導のもと、研究計画を立案して実施し、学業発表や論文発表ができる。	
科学的思考	1. 常に好奇心と探究心をもって学業をこらえ、科学的思考に基づいて解題できる。 2. 研究の枠組みを理論し、課題を解決するための方法を説明することができる。 3. 医学の知識を病態や症候、治療と関連付けて理解し、問題解決に取り組みすることができる。 4. 患者およびその家族を全人的に理解し、様々な背景をもつコンピテンシーにおける共感、敬意、思いやりの重要性を理解できる。またコンピテンシーの重要性を理解できる。	疾患の病態と理や症状、治療に関する医学的知識を理解し、課題に取り組みすることができる。 患者およびその家族の立場に立ち、その思いやり、心理社会的背景を考慮することができる。 コンピテンシーにおける共感、敬意、思いやりの重要性を理解できる。またコンピテンシーの重要性を理解できる。	患者およびその家族に共感、敬意、思いやりをもって接することができる。 複雑な病態の場において、心理社会的背景を考慮し、コンピテンシーを活用して適切なコミュニケーションをとることができる。 複雑な病態の場において、患者の病状や予後を説明し、相手の意向を尊重し、コミュニケーションができる。	一般的な診療の場において、患者およびその家族を全人的に理解し、良好な患者医師関係を構築するために、様々な背景をもつ患者の共感、敬意、思いやりをもって接し、適切なコミュニケーションをとることができる。 複雑な病態の場において、患者の病状や予後を説明し、相手の意向を尊重し、コミュニケーションをとることができる。	指導者の指導のもと、研究計画を立案して実施し、学業発表や論文発表ができる。	
コミュニケーション	1. 医師の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学などの医学知識を習し、問題解決に活用できる。 2. 一般的な診療の場において、患者の主要な病歴を系統的に正確に聴取できる。 3. 患者の病歴にあわせて適切に身体診察を実施し、所見の解釈ができる。 4. 適切な身体的臨床手技を安全に実施できる。 5. 臨床推論の考え方に基き、収集した医学情報から鑑別診断を行い、検査計画を行い、検査計画を立案し、結果を解釈できる。 6. 基本的な治療計画を立案できる。 7. Problem Oriented Systemに基き、診療録を記載することができる。 8. 診療情報の共有のために、その場に応じたテレコンセンサスが求められる。 9. Evidence-based medicine (EBM) の手法を活用して、臨床に際して生じた疑問に適切な必要な情報を収集して向隅への適用を提案できる。 10. 医療安全の基本規範を理解し、患者および医療従事者にとって良質かつ安全な医療を提供する意識をもち、実践できる。	1. 診療の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学などの医学知識を習し、問題解決に活用できる。 2. 一般的な診療の場において、患者の主要な病歴を系統的に正確に聴取できる。 3. 患者の病歴にあわせて適切に身体診察を実施し、所見の解釈ができる。 4. 適切な身体的臨床手技を安全に実施できる。 5. 臨床推論の考え方に基き、収集した医学情報から鑑別診断を行い、検査計画を行い、検査計画を立案し、結果を解釈できる。 6. 基本的な治療計画を立案できる。 7. Problem Oriented Systemに基き、診療録を記載することができる。 8. 診療情報の共有のために、その場に応じたテレコンセンサスが求められる。 9. Evidence-based medicine (EBM) の手法を活用して、臨床に際して生じた疑問に適切な必要な情報を収集して向隅への適用を提案できる。 10. 医療安全の基本規範を理解し、患者および医療従事者にとって良質かつ安全な医療を提供する意識をもち、実践できる。	1. 診療の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学などの医学知識を習し、問題解決に活用できる。 2. 一般的な診療の場において、患者の主要な病歴を系統的に正確に聴取できる。 3. 患者の病歴にあわせて適切に身体診察を実施し、所見の解釈ができる。 4. 適切な身体的臨床手技を安全に実施できる。 5. 臨床推論の考え方に基き、収集した医学情報から鑑別診断を行い、検査計画を行い、検査計画を立案し、結果を解釈できる。 6. 基本的な治療計画を立案できる。 7. Problem Oriented Systemに基き、診療録を記載することができる。 8. 診療情報の共有のために、その場に応じたテレコンセンサスが求められる。 9. Evidence-based medicine (EBM) の手法を活用して、臨床に際して生じた疑問に適切な必要な情報を収集して向隅への適用を提案できる。 10. 医療安全の基本規範を理解し、患者および医療従事者にとって良質かつ安全な医療を提供する意識をもち、実践できる。	1. 診療の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学などの医学知識を習し、問題解決に活用できる。 2. 一般的な診療の場において、患者の主要な病歴を系統的に正確に聴取できる。 3. 患者の病歴にあわせて適切に身体診察を実施し、所見の解釈ができる。 4. 適切な身体的臨床手技を安全に実施できる。 5. 臨床推論の考え方に基き、収集した医学情報から鑑別診断を行い、検査計画を行い、検査計画を立案し、結果を解釈できる。 6. 基本的な治療計画を立案できる。 7. Problem Oriented Systemに基き、診療録を記載することができる。 8. 診療情報の共有のために、その場に応じたテレコンセンサスが求められる。 9. Evidence-based medicine (EBM) の手法を活用して、臨床に際して生じた疑問に適切な必要な情報を収集して向隅への適用を提案できる。 10. 医療安全の基本規範を理解し、患者および医療従事者にとって良質かつ安全な医療を提供する意識をもち、実践できる。	1. 診療の基礎となる基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学などの医学知識を習し、問題解決に活用できる。 2. 一般的な診療の場において、患者の主要な病歴を系統的に正確に聴取できる。 3. 患者の病歴にあわせて適切に身体診察を実施し、所見の解釈ができる。 4. 適切な身体的臨床手技を安全に実施できる。 5. 臨床推論の考え方に基き、収集した医学情報から鑑別診断を行い、検査計画を行い、検査計画を立案し、結果を解釈できる。 6. 基本的な治療計画を立案できる。 7. Problem Oriented Systemに基き、診療録を記載することができる。 8. 診療情報の共有のために、その場に応じたテレコンセンサスが求められる。 9. Evidence-based medicine (EBM) の手法を活用して、臨床に際して生じた疑問に適切な必要な情報を収集して向隅への適用を提案できる。 10. 医療安全の基本規範を理解し、患者および医療従事者にとって良質かつ安全な医療を提供する意識をもち、実践できる。	
医療の社会性	1. 地域・集団の問題に関する問題を科学的に分析し、問題解決に取り組みすることができる。 2. 保健・医療・福祉に関する関連法規、制度、組織、専門職を理解し、その活用し、医療経済を考慮した活動を実施することができる。 3. 地域のニーズを把握し、地域の特性を活用して地域医療に貢献できる。 4. 予防の視点を持ち、個人・集団を対象とした予防活動を実践できる。					
未来開拓力	1. グローバルな課題に目を向け、多様性を受け入れつつ、国内外から広く情報を収集し英語で発信できる。 2. 目的の困難な課題に対し、創意工夫を凝らして取り組み強みを生かすことができる。 3. 自らの考えを明確にし、適切な方法で情報発信できる。 4. 場に応じて積極的に教育を実施するとともに、教育を通して自らの学びを深めることができる。 5. チームメンバーと協働し、目標の達成に向けてリーダーシップを発揮できる。	1. グローバルな課題に目を向け、多様性を受け入れつつ、国内外から広く情報を収集し英語で発信できる。 2. 目的の困難な課題に対し、創意工夫を凝らして取り組み強みを生かすことができる。 3. 自らの考えを明確にし、相手と伝えることの重要性を理解することができる。 4. 場に応じて積極的に教育を実施するとともに、教育を通して自らの学びを深めることができる。 5. チームメンバーと協働し、目標の達成に向けてリーダーシップを発揮できる。	1. グローバルな課題に目を向け、多様性を受け入れつつ、国内外から広く情報を収集し英語で発信できる。 2. 目的の困難な課題に対し、創意工夫を凝らして取り組み強みを生かすことができる。 3. 自らの考えを明確にし、相手と伝えることの重要性を理解することができる。 4. 場に応じて積極的に教育を実施するとともに、教育を通して自らの学びを深めることができる。 5. チームメンバーと協働し、目標の達成に向けてリーダーシップを発揮できる。	1. グローバルな課題に目を向け、多様性を受け入れつつ、国内外から広く情報を収集し英語で発信できる。 2. 目的の困難な課題に対し、創意工夫を凝らして取り組み強みを生かすことができる。 3. 自らの考えを明確にし、相手と伝えることの重要性を理解することができる。 4. 場に応じて積極的に教育を実施するとともに、教育を通して自らの学びを深めることができる。 5. チームメンバーと協働し、目標の達成に向けてリーダーシップを発揮できる。	1. グローバルな課題に目を向け、多様性を受け入れつつ、国内外から広く情報を収集し英語で発信できる。 2. 目的の困難な課題に対し、創意工夫を凝らして取り組み強みを生かすことができる。 3. 自らの考えを明確にし、相手と伝えることの重要性を理解することができる。 4. 場に応じて積極的に教育を実施するとともに、教育を通して自らの学びを深めることができる。 5. チームメンバーと協働し、目標の達成に向けてリーダーシップを発揮できる。	

* 一般的な診療の場には、病棟・外来診療などのClinical Clerkshipを実施する場をいう。様々な診療の場には、病棟外来や患者ケア等必要な対応が必要と想定される。
** 医学教育マニュアル・コア・カリキュラムで提示されている臨床手技

筑波大学 医学類カリキュラムの概要



1. M6 カリキュラムの概要

新型コロナウイルス感染拡大のため、臨床実習の見合わせなど予定のプログラムから変更して実施しています。本シラバスでは、予定されていたカリキュラムについて記していますので、実習の内容やスケジュールの変更について、manaba, 医学類 web 時間割などの最新情報を確認してください。

医学専攻の学生は、4月～6月第1週にM6 クリニカル・クラークシップ (Phase II B) および医療概論Vとして、5年次10月からのクリニカル・クラークシップ Phase II を継続して実習する。6月はアドヴァンスト・エレクティヴスを履修する。

新医学専攻の学生は、4月～6月の期間に研究室実習として、5年次1月から参加している研究室における実習を履修する。

全ての学生は7月より夏休みを挟み11月まで医学総括 (計20コース) を実施する。

試験としては、以下の3つを行う。

Post-CC OSCE (客観的臨床技能試験) (7月3・4日)

総合試験：第1回総合試験 (8月31日・9月1日)

第2回総合試験 (11月19・20日)

第3回総合試験 (12月17・18日)

総括試験：各コースの総括試験 (計20コース) (7月～11月)

2. M6 クリニカル・クラークシップ (Phase II B) (4月～6月第1週) (医学専攻のみ)

Coodinator 山縣邦弘、檜澤伸之

7月に予定されていたCC発表会は中止になりました。ポスター作成を終了された学生には、今後別途ポスター掲示の機会や抄録のPDF配付を検討しています (詳細が決まったらお知らせします)。

5年次10月から実施しているクリニカル・クラークシップ Phase II の続きとして、選択CC、地域病院CC、総合診療科CCを行う。

詳細はM4M5M6 クリニカル・クラークシップ実習ガイドを参照。

Phase II のいずれかの診療科で学んだこと、症例について、教員の指導のもとで発表抄録およびポスターを作成し、M6の7月に実施するCC発表会にてポスター発表を行う。(M5 phase II ガイダンスで配布した要項を参照)

3. 医療概論V (4月～6月第1週)

Coodinator 前野哲博

5年次10月から実施しているCC Phase II 総合診療科CC/医療概論V (4週間、必修) について、4月・5月のローテーションの学生が参加する (医療概論VはM5より順次実習を行っており、新医学専攻の学生はM5の12月までに既に実習しているが、全員が実習を終了する時期がM6となるため、M6の開設授業科目に位置づけられている)。詳細は総合診療科CC/医療概論V実習ガイドライン冊子を参照。

4. アドヴァンスト・エレクティヴズ (6月：4週間) (医学専攻のみ)

Coodinator 山縣邦弘、檜澤伸之

院外実習は実施見合わせとなり、院内各診療科、研究室実習に振り替える予定です。実習先希望調査については随時アナウンスされるので、それに従い進めてください。

実習後の提出物については、原則実習予定となった各診療科の指示に従ってください。

もともと研究室実習を予定していた学生は、当初の予定どおり、指導教員の指示の下、実習を実施します。参考のために以下に予定していたプログラムについて記載しています。

4-1 コースの概要

自分の希望や将来の進路に合わせて興味のある分野を掘り下げる実習で、学生が自ら実習プランをたてて実施する。学外実習・附属病院実習・研究室実習・海外実習のいずれか、または組み合わせて実施する。

4-2 筑波大学卒業時コンピテンシーとの関連

ほぼすべてのコンピテンシーと関連するが、特に以下の項目を重視する。

・プロフェッショナリズム

利益相反を正しく理解し、社会規範を遵守する。学術活動/診療の場において、研究倫理/医療倫理の原則に基づいて行動できる（レベル3）。

医師のプロフェッショナリズムに則り、常に患者中心の立場に立って考え、利他的、共感的、誠実に対応できる（レベル3）。

社会全体の医療ニーズと医療資源の公平な分配のために、医療者が心がけるべきことを列挙し、医療の質の向上に努めることができる（レベル3）。

常に振り返りを通して自らの課題を明らかにして、その後に活かすためのプランを挙げ、意欲的に自己の向上にむけて行動できる（レベル3）。

・科学的思考

直面した課題に対し問題点を抽出し、科学的思考に基づいて科学的解釈ができる（レベル3）。

医学的な課題に対し、文献や書籍を適切に解釈し、応用や解決のための方法論を説明できる（レベル3）。

医学の知識を病態や症候、治療と関連付けて理解し、問題解決に取り組むことができる（レベル3）。

・コミュニケーション

一般的な診療の場*で、患者およびその家族を全人的に理解し、良好な患者医師関係を構築するために、様々な背景をもつ患者に共感、敬意、思いやりをもって接し、適切なコミュニケーションをとることができる。指導者のもとで、病状をわかりやすく説明した上で患者の意向を尊重した方針の決定ができる（レベル3）。

保健・医療・福祉の現場において、チームの一員として、チームメンバーを尊重して適切にコミュニケーションをとり、多職種と効果的に連携できる（レベル3）。

・診療の実践

診療の場において、基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学の知識を疾患の予防、診断、治療に活用できる（レベル3）。

一般的な診療の場*において、患者の主要な病歴を系統的に正確に聴取できる（レベル3）。

診療の場において、身体診察を行い、所見を適切に解釈できる（レベル3）。

指導者の監督のもとで、基本的な臨床手技**を行うことができる（レベル3）。

一般的な診療の場で、臨床推論の考え方にに基づき、収集した医学情報から鑑別診断を行い、検査計画を立案し、得られた結果を解釈できる（レベル3）。

診療の場において主な疾患の基本的な治療計画を立案できる（レベル3）。

診療の場において EBM の手法を活用して、臨床において生じた疑問について必要な情報を収集吟味し、患者への適用を提案できる（レベル3）。

*一般的な診療の場とは、病棟・外来診療などの Clinical Clerkship を実施する場をいう。

**医学教育モデル・コア・カリキュラムで提示されている臨床手技

・医療の社会性

患者および医療従事者にとって良質かつ安全な医療を提供する意識をもち、実践できる（レベル3）。

実際の現場で、集団レベルの視点から問題点を抽出し、科学的に分析し、問題解決に取り組むことができる（レベル3）。

実際の現場で、保健・医療・福祉に関する関連法規、制度、組織、専門職、医療経済を意識して行動できる（レベル3）。

実際の現場で、地域のニーズを意識し、地域の特性を活用するよう意識して行動できる（レベル3）。

個人・集団を対象とした予防活動を提案し一部実践できる（レベル3）。

・未来開拓力

グローバルな視点から問題解決をはかることができ、英語で発信できる（レベル4：海外実習、研究室実習）。

困難な状況においても既成概念にとらわれることなく、諦めずに粘り強く解決にあたることができる（レベル3：海外実習、研究室実習）。

4-3 コースの達成目標

医学類の統合カリキュラムの最終段階において、これまでの学習により得た知識と技術を臨床医学各領域および社会医学の立場から総括し、医師として必要な基本的臨床能力を身につける。

- 1) 各自の興味や将来の進路により実習施設を選択して実習を行い、将来のキャリアパスに役立てる。
- 2) これまでの実習で足りないところを重点的に実習して、バランスよく臨床能力を身につける。
- 3) 興味のある領域の研究室実習を行なうことで、研究者の視点を修得する（研究室実習選択者のみ）。

4-4 学習の進め方

5年次の秋に学外実習・附属病院実習・研究室実習・海外実習のいずれか、または組み合わせる形で実習計画をたて、自身で実習受け入れ依頼を行うなど準備を進めて実施する。

・学外病院

各自希望する病院・診療科を2週または1週間単位で選択する。

・筑波大学附属病院

各自希望する診療科を2週間単位で選択する。

・研究室実習

研究室において、基礎医学・臨床医学・社会医学研究の重要性を理解し、基本となる研究の意識と技術を習得する。

※研究室実習や解剖実習を希望する者は、研究グループ長の許可を得ること

・海外実習は、5年次の募集時において所定の条件を満たし学内選考試験に合格した学生が履修できる。

提出物については、今後のアナウンスで確認してください。

4-5 評価

下記より総合的に評価する。

- 1) ~~学外施設の指導医による評価~~（なくなりました）
- 2) 研究室実習の評価
学群教務より指導教員へ評価表が配布される。
- 3) 大学病院の各診療科の評価
医学教育企画評価室より診療科長へ評価表が配布される。（評価用紙はCC評価表と同じ形式）
- 4) レポート・報告書による評価

5. 研究室実習（新医学専攻のみ）（4月～7月第1週）

Coodinator 高橋 智

当初の予定どおり、指導教員の指示の下で実習を実施します。

5-1 コースの概要

指導教員のもとで各自のテーマにそった研究を実施する。

卒業後、大学院博士課程に進学した場合は、学群での研究成果を踏まえて、原則として大学院博士課程3年次までに論文を提出することを目指す。

5-2 筑波大学卒業時コンピテンシーとの関連

・科学的思考

直面した課題に対し問題点を抽出し、科学的思考に基づいて科学的解釈ができる（レベル3）。指導者の指導のもと、研究計画を立案して実施し、学会発表や論文発表ができる。（レベル4）。直面した臨床的課題に対し、解決のための適切な方法を提示できる。（レベル4）。

・未来開拓力

困難な状況においても既成概念にとらわれることなく、諦めずに粘り強く解決にあたることができる（レベル3）。

自分の意見や成果を広く社会に発信できる（レベル4）。

5-3 コースの達成目標

独立した研究者として基本能力を修得する。

- 1) 研究テーマの設定、研究計画の立案、研究の実施、結果の解析、学会発表や論文発表を行う。
- 2) 研究倫理を遵守できる。

5-4 学習の進め方

5年次1月から引き続き研究室実習を行う。

新医学専攻コース成果報告書の提出（7月2日（金）16時までに学群教務へ）と新医学専攻研究発表会（7月13・14日16時30分～）における発表を行う。

*卒業後、大学院博士課程に進学した場合は、学群での研究成果を踏まえて、原則として大学院博士課程3年次までに論文を提出することを目指す。

5-5 評価

新医学専攻コース成果報告書、新医学専攻研究発表会による評価、指導教員による評価。

6. 総括講義

Coodinator 山縣邦弘、檜澤伸之

6-1 コースの概要

最終学年までに得た知識を系統的に整理し、臨床の各部門、疾患に対する理解を深め、社会医学全般を含め、疾患の予防法、診断法、治療法を実践できる医師としての基盤を確実なものとするために、講義を通じて学ぶ。

6-2 筑波大学卒業時コンピテンシーとの関連

すべてのコンピテンシーと関連するが、特に以下の項目を重視する。（全てレベル3）

・プロフェッショナリズム

利益相反を正しく理解し、社会規範を遵守する。学術活動/診療の場において、研究倫理/医療倫理の原則に基づいて行動できる。

医師のプロフェッショナルリズムに則り、常に患者中心の立場で考え、利他的、共感的、誠実に対応できる。

社会全体の医療ニーズと医療資源の公平な分配を念頭に置き、医療の質の向上に努めることができる。

常に振り返りを通して自らの課題を明らかにし、その後に活かすためのプランを挙げ、意欲的に自己の向上にむけて行動できる。

・科学的思考

直面した課題に対し問題点を抽出し、科学的思考に基づいて科学的解釈ができる。

医学的な課題に対し、文献や書籍を適切に解釈し、応用や解決のための方法論を説明できる。

医学の知識を病態や症候、治療と関連付けて理解し、問題解決に取り組むことができる。

・診療の実践

診療の場において、基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学の知識を疾患の予防、診断、治療に活用できる。

一般的な診療の場で、臨床推論の考え方にに基づき、収集した医学情報から鑑別診断を行い、検査計画を立案し、得られた結果を解釈できる。

診療の場において主な疾患の基本的な治療計画を立案できる。

診療の場において EBM の手法を活用して、臨床において生じた疑問について必要な情報を収集吟味し、患者への適用を提案できる。

・医療の社会性

患者および医療従事者にとって良質かつ安全な医療を提供する意識をもち、実践できる。

実際の現場で、集団レベルの視点から問題点を抽出し、科学的に分析し、問題解決に取り組むことができる。

実際の現場で、保健・医療・福祉に関する関連法規、制度、組織、専門職、医療経済を意識して行動できる。

実際の現場で、地域のニーズを意識し、地域の特性を活用するよう意識して行動できる。

個人・集団を対象とした予防活動を提案し一部実践できる。

6-3 コースの達成目標

医学類の統合カリキュラムの最終段階において、これまでの学習により得た知識と技術を臨床医学各領域および社会医学それぞれの立場から総括し、医師として必要な基本的臨床能力を身につける。

6-4 学習の進め方

夏休みをはさみ、7月～11月に20コースの講義に参加する。授業時間は別紙時間割表による。

7月3日、4日に実施する Post-CC OSCE を受験する（詳細は Post-CC OSCE オリエンテーションで提示）。

6-5 評価

医学総括単位認定要件

1. Post-CC OSCE に合格していること
2. 原則として、総括講義に 2/3 以上出席していること。

※出席管理システムで管理します。

※オンライン講義について、視聴履歴と manaba における各講義受講後アンケート提出をもって「出席」とします。

医学総括単位認定基準

原則として、総括試験と3回の総合試験の結果に基づく総合総括得点において、平均60点以上かつ平均点-2SD以上であること。

上記の卒業認定要件を満たさずに留年した場合には、医学総括は前年度に合格していても再履修しなければならない（持ち越し不可）。

6-6 学習項目

コース#1 運動系臨床

Coordinator: 山崎 正志

	学習項目	担当教員	Keywords
1	脊椎脊髄疾患・外傷	山崎 正志	変形性脊椎症、側弯症、椎間板ヘルニア、後縦靭帯骨化症、麻痺像、脊椎損傷、脊髄損傷、強直性脊椎炎
2	骨軟部腫瘍・骨感染・骨系統疾患・骨代謝疾患	國府田正雄	骨軟骨腫、内軟骨腫、骨巨細胞腫、骨嚢腫、骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing 肉腫、転移性骨腫瘍、脂肪腫、神経鞘腫、ガングリオン、化膿性骨髄炎、化膿性関節炎、骨・関節結核、軟骨無形成症、脊椎骨端異形成症、骨形成不全症、大理石骨病、多発性骨端異形成症、骨粗鬆症、骨軟化症、くる病、副甲状腺機能亢進症
3	股関節疾患・外傷	三島 初	先天性股関節脱臼、ペルテス病、大腿骨頭すべり症、大腿骨頭壊死症、股関節炎、変形性股関節症、大腿骨頸部骨折、外傷性股関節脱臼、人工関節
4	膝関節疾患・外傷	金森 章浩	半月板損傷、前十字靭帯断裂、変形性膝関節症、コンパートメント症候群、疲労骨折、先天性内反足、外反母趾、アキレス腱断裂、足関節捻挫、腱板損傷、肩脱臼、顎上骨折、外顎骨折、Monteggia 骨折、Colles 骨折、舟状骨骨折

- ・ リソースパーソン: 國府田正雄
- ・ 教科書: がみえるシリーズ

コース#2 眼系臨床

Coordinator: 大鹿 哲郎

	学習項目	担当教員	Keywords
1	屈折異常、白内障	大鹿 哲郎	屈折異常の種類、発生機序、光学的矯正、手術療法、水晶体疾患
2	網膜硝子体疾患	岡本 史樹	糖尿病網膜症、網膜中心静脈閉塞症、網膜中心動脈閉塞症、網膜剥離、眼内異物、眼球破裂
3	緑内障	上野 勇太	緑内障の種類、病態、点眼薬、手術療法
4	角結膜疾患	長谷川優実	角膜炎、結膜炎、角膜変性症、円錐角膜、角膜移植

- ・ リソースパーソン

教員名	専門分野	オフィスアワー	連絡先(Email アドレス)
大鹿哲郎	眼科	秘書に確認 (PHS3148)	
岡本史樹	眼科	月曜日午後	
平岡孝浩	眼科	木曜日午後	
上野勇太	眼科	月曜日午後	
星 崇仁	眼科	月曜日午後	
長谷川優実	眼科	月曜日午後	
福田慎一	眼科	月曜日午後	

- ・ 教科書

書名: 講義録 眼・視覚学

著者: 大鹿哲郎, 山本修一 出版社: MEDICAL VIEW ISBN: 7583-0061-5

価格: 6,800 円

コメント: 簡潔にまとめられているが、必要な情報はほとんど網羅している。

コース#3 耳鼻咽喉系臨床

Coordinator: 田渕 経司

	学習項目	担当教員	Keywords
1	めまいと難聴	和田 哲郎	聴力検査、めまい検査、感音難聴
2	頭頸部腫瘍と再建手術	和田 哲郎	手術、抗がん剤・放射線
3	急性及び慢性中耳炎	田渕 経司	難聴、耳痛、ティンパノグラム、伝音難聴
4	慢性副鼻腔炎・その他	田中 秀峰	病態的局所解剖診断法、治療法

・ リソースパーソン

教員名	専門分野	オフィスアワー	連絡先(Email アドレス)
田渕 経司	耳科学		
和田 哲郎	耳科学		
廣瀬 由紀	耳科学		
田中 秀峰	耳科学		
西村 文吾	頭頸部外科		
中山 雅博	頭頸部外科		

コース#4 皮膚系臨床

Coordinator: 藤澤 康弘

	学習項目	担当教員	Keywords
1	膠原病・水疱症	沖山 奈緒子	SLE、強皮症、皮膚筋炎、混合性結合組織病、Sjögren 症候群、Behçet 病、IgA 血管炎、天疱瘡、類天疱瘡
2	皮膚感染症	石井 良征	皮膚細菌感染症、皮膚真菌症、皮膚抗酸菌感染症、ウイルス性疾患、疥癬
3	褥瘡・熱傷・母斑・腫瘍	藤澤 康弘	太田母斑、神経線維腫症 1 型、結節性硬化症、単純性血管腫、乳児血管腫、乳房外 Paget 病、Bowen 病、有棘細胞癌、基底細胞癌、悪性黒色腫、菌状息肉症
4	炎症性皮膚疾患	古田 淳一	アトピー性皮膚炎、湿疹、接触皮膚炎、蕁麻疹、薬疹、乾癬、掌蹠膿疱症、扁平苔癬

・ リソースパーソン

教員名	専門分野	オフィスアワー	連絡先(Email アドレス)
藤澤 康弘	皮膚科		
石井 良征	皮膚科		
沖山 奈緒子	皮膚科		
古田 淳一	皮膚科		

・ 教科書

書名: あたらしい皮膚科学(第3版) 著者: 清水宏
 出版社: 中山書店 価格: ¥7,800
 書名: 皮膚科学(第10版) 著者: 大塚藤男
 出版社: 金芳堂 価格: ¥12,500

・ その他の学習リソース

書名: あたらしい皮膚病診療アトラス、出版社: 中山書店、価格: ¥9,800

	学習項目	担当教員	Keywords
1	内因性精神障害	根本 清貴	統合失調症、躁うつ病、非定型精神病、妄想性障害
2	心因性精神障害	太刀川弘和	神経症、心身症、摂食障害、人格障害
3	器質性精神障害	新井 哲明	器質性精神障害、症状性精神障害、中毒性精神障害
4	精神科治療	松崎 朝樹	向精神薬、精神療法、電気療法

・ リソースパーソン

教員名	専門分野	オフィス アワー	連絡先(内線またはEmail アドレス)
新井 哲明 (教授)	臨床精神医学、老年精神医学、 神経病理学	金曜 午後	
太刀川 弘和 (教授)	臨床精神医学、大学メンタルヘルス、 自殺予防、精神科救急、災害精神医療	火曜 午後	
根本 清貴 (准教授)	臨床精神医学、統合失調症、 うつ病、脳神経画像解析	月曜 午後	
松崎 朝樹 (講師)	統合失調症、うつ病、双極性障害	木曜 午後	

・ 教科書

書名: 認知症テキストブック

著者: 日本認知症学会 出版社: 中学医学社 ISBN:978-4-498-12926-9 価格:7,600 円

コメント: 認知症について必要な情報はほとんど網羅している。

書名: 認知症ハンドブック

著者: 中島健二他 出版社: 医学書院 ISBN:978-4-260-01849-4 価格:10,000 円

コメント: 認知症について必要な情報はほとんど網羅している。

書名: 標準精神医学 第7版

著者: 尾崎紀夫他 出版社: 医学書院 ISBN:978-4260032469 価格:7,020 円

コメント: 医学生向けの精神医学を俯瞰する教科書である

書名: 精神診療プラチナマニュアル

著者: 松崎朝樹 出版者: メディカルサイエンスインターナショナル ISBN:978-4815701154 価格:2,160 円

コメント: 精神科における診断や治療について具体的に解説されている。

・ その他の学習リソース

書名: 実験医学増刊 認知症

著者: 森啓 出版社: 羊土社 ISBN:978-4-7581-0364-0 価格:5,400 円

コメント: 認知症の分子病態の最新知見を学ぶことができる。

書名: つながりからみた自殺予防

著者: 太刀川弘和 出版社: 人文書院 ISBN:978-4-409-34053-0 価格:2,800 円

コメント: 神経症、人格障害に関連する自殺予防の医療的対策、社会的対策が網羅されている。自殺予防についてより深く広く学びたい人に。

Website: <https://www.youtube.com/c/松崎朝樹>

コメント: 精神医学について解説されている。国家試験対策としてまとめて学習するには、チャンネル内の動画リストが有用。

	学習項目	担当教員	Keywords
1	呼吸器感染	石井 幸雄	インフルエンザ、気管支拡張症、細菌性肺炎、非定型肺炎、肺真菌症、ニューモシスチス肺炎、抗酸菌感染症
2	気管支病変・閉塞性肺疾患	檜澤 伸之	慢性閉塞性肺疾患(COPD)、気管支喘息、気管支拡張症、びまん性汎細気管支炎
3	間質性肺疾患	森島 祐子	特発性間質性肺炎、好酸球性肺炎、薬剤性肺炎、過敏性肺炎、じん肺、肺胞蛋白症
4	肺腫瘍	佐藤 浩昭	原発性肺癌、良性肺腫瘍、転移性肺腫瘍
5	肺循環障害・換気異常	山田 英恵	肺水腫、肺血栓塞栓症、原発性肺高血圧症、過換気症候群、睡眠時無呼吸症候群
6	全身性疾患にともなう肺病変・胸膜疾患	際本 拓未	サルコイドーシス、膠原病及び血管炎に伴う肺病変、胸膜炎、胸膜中皮腫、気胸
7	呼吸器疾患の外科的治療とくに肺癌治療の現況	佐藤 幸夫	原発性肺癌、胸腔鏡手術、開胸術、胸腔ドレナージ、気管切開術、肺癌手術術式、手術予後、胸部外傷
8	縦隔腫瘍とくに胸腺腫の臨床	市村 秀夫	胸腺腫、重症筋無力症、奇型腫、先天性嚢腫、神経系腫瘍、胸腔内甲状腺腫
9	良性、転移性肺腫瘍の外科的治療、および呼吸器インターベンション	後藤 行延	転移性肺腫瘍、肺良性腫瘍、気管支鏡検査、気管支鏡治療、喀痰細胞診
10	呼吸器救急疾患	稲垣 雅春 (土浦協同病院)	気胸、膿胸、呼吸器救急疾患、胸腔ドレナージ、胸部外傷、気管切開

内科:

・ リソースパーソン

教員名	専門分野	オフィスアワー	連絡先(Email アドレス)
檜澤 伸之(教授)			
石井幸雄(教授)			
佐藤浩昭(教授)			
森島祐子(准教授)			
中澤健介(講師)			
際本拓未(講師)			
山田英恵(講師)			

・ 教科書

- 臨床医学の Minimum Essential 金原出版
筑波大学医学専門学群「臨床医学の Minimum Essential」編集委員会
- 新臨床内科学 医学書院

- その他の学習リソース

- 参考書

1. 病気がみえる 医療情報科学研究所(必要な基本的知識が理解しやすく記載されている)
2. STEP 内科 海馬書房 (必要な基本的知識が理解しやすく記載されている)
3. 呼吸器病 New Approach 1-9 Medical View 社 (疾患分類配置がわかりやすい)
4. クリニカル アイ 呼吸器 医学評論社 (必要な基本的知識が理解しやすく配置されている)

外科:

- リソースパーソン

教員名 佐藤幸夫 専門分野 呼吸器外科

- 教科書

- 書名: 呼吸器外科テキスト

- 著者: 編集 日本呼吸器外科学会/呼吸器外科専門医合同委員会

- 出版社: 南光堂 ISBN:978-4-524-25858-1 価格:14,040

- コメント:各項目毎に最新の情報を含め簡潔に記載され、必要な情報はほとんど網羅している。

- その他の学習リソース

- 書名: 呼吸器外科学

- 著者:正岡昭 出版社:南山堂 ISBN:978-4-525-31214-5 価格:16,200

- コメント: 基本的な項目が判りやすくまとめられている。

	学習項目	担当教員	Keywords
1	循環器疾患の症候と機能解剖	家田 真樹	痛、背部痛、息切れ、呼吸困難、動悸、浮腫、失神、易疲労感、チアノーゼ、心臓の構造と機能、刺激伝導系
2	胸部 X 線・心音図・心エコー図	石津 智子	心胸郭比、butterfly shadow、収縮期雑音、拡張期雑音、Mモードエコー図、心断層図、ドップラー
3	虚血性心疾患の診断と治療	佐藤 明	労作性狭心症、冠攣縮性狭心症、心筋梗塞、抗狭心症薬、抗血小板薬、リハビリテーション、手術適応、冠状動脈血行再建術、心室中隔穿孔閉鎖術、心室瘤切除術、大動脈内バルーン・パンピング (IABP)
4	不整脈の診断と治療	山崎 浩	徐脈性不整脈、頻脈性不整脈、心電図各コンポーネントの成因、抗不整脈薬、抗凝固薬、アブレーション、ペースメーカー、植込み型除細動器
5	心不全の診断と治療	村越 伸行	慢性心不全、高心拍出性心不全、低心拍出性心不全、右心不全、左心不全、EF 保持型心不全、EF 低下型心不全、NYHA 分類、Forrester 分類、前負荷、後負荷、心拍出係数、左室拡張末期圧、BNP、NT-proBNP、心臓カテーテル検査、レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系阻害薬、β 遮断薬
6	心筋症、心筋炎	山本 昌良	肥大型心筋症、拡張型心筋症、二次性心筋疾患、左房粘液腫、心筋炎、左房粘液腫
7	弁膜症の診断と治療	町野 智子	各弁膜症の診断、心雑音、心エコー図、心血管造影法、手術適応、カテーテル治療
8	心内膜炎、心膜疾患	田尻 和子	リウマチ性心内膜炎、感染性心内膜炎、急性心膜炎、慢性心膜炎、収縮性心膜炎、心タンポナーデ
9	肺循環と肺高血圧症	佐藤 希美	肺動脈、肺高血圧症、右心不全、深部静脈血栓症、肺血栓塞栓症
10	先天性心疾患の診断、	堀米 仁志	チアノーゼ性先天性心疾患、左右短絡疾患、カテーテルインターベンション、成人の先天性心疾患、胎児診断、小児心不全、肺高血圧症
11	先天性心疾患の治療	平松 祐司	先天性心疾患の手術適応、肺血流量の調整、姑息手術、根治手術、Fontan 型手術
12	弁膜症の外科的治療	坂本 裕昭	弁膜症の手術適応、弁置換術、人工弁、生体弁、弁形成術
13	血管疾患の診断と治療	大坂 基男	大動脈瘤、閉塞性動脈疾患(急性・慢性)、間歇性跛行、安静時疼痛、潰瘍、脱疽、閉塞性静脈疾患、下肢静脈瘤、Homan's sign、Trendelenburg テスト、血栓(内膜)摘除術、交感神経節切除術、血行再建術、ストリッピング、人工血管、自家静脈グラフト
14	循環器救命救急診療	平谷 大吾	心臓性ショック、低心拍出量症候群、うっ血性心不全、肺性心、中心静脈圧、肺動脈(楔入)圧、心拍出量、補助循環

・ リソースパーソン

教員名	専門分野	オフィスアワー	連絡先(内線または Email アドレス)
家田 真樹	(循環器内科学)	9:00-17:00 (以下同じ)	
河野 了	(循環器内科学)		
佐藤 明	(循環器内科学)		
村越 伸行	(循環器内科学)		
石津 智子	(循環器内科学)		
星 智也	(循環器内科学)		
山崎 浩	(循環器内科学)		
町野 毅	(循環器内科学)		
田尻 和子	(循環器内科学)		
町野 智子	(循環器内科学)		
山本 昌良	(循環器内科学)		
佐藤 希美	(循環器内科学)		
平谷 大吾	(循環器内科)		
平松 祐司	(心臓血管外科学)	9:00-17:00 (以下同じ)	
坂本 裕昭	(心臓血管外科学)		
大坂 基男	(心臓血管外科学)		
上西祐一郎	(心臓血管外科学)		
松原 宗明	(心臓血管外科学)		
加藤 秀之	(心臓血管外科学)		
堀米 仁志	(小児循環器学)		

・ 教科書

福田康一郎ほか監修：標準生理学 第8版、2014、医学書院

田中千賀子ほか New 薬理学 第7版、2017、南江堂

Jameson JL et al. (Ed.): Harrison's Principles of Internal Medicine- 20th Edition, 2018、McGraw-Hill

Zipes DP et al. (Ed): Braunwald's Heart Disease- 11th edition, 2019. Elsevier

矢崎義雄総編集：内科学 第11版、2017、朝倉書店

北野正剛監修：標準外科学 第15版、2019、医学書院

・ その他の学習リソース

石村和敬、井上貴央ほか監修：最新カラー組織学、2003、西村書店

石井邦雄：イラスト薬理学 2013、羊土社

渡辺重行：心電図の読み方パーフェクトマニュアル 2006、羊土社

Blackstone EH et al. (Ed.): Kirklin & Barratt-Boyes Cardiac Surgery (2-Volume Set) , 4rd Edition, 2012, Saunders

Ascher E, et al. (Ed.) : Haimovici's Vascular Surgery, 6th Edition, 2012, Wiley-Blackwell

絹川弘一郎：ベイム・グロスマン 心臓カテーテル検査・造影・治療法 原書8版、2017、南江

堂

Spray TL : Operative Cardiac Surgery, 6th Edition, 2018、CRC Press

安達秀雄ほか：新心臓血管外科テキスト、2016、中外医学社

日本小児循環器学会編：小児・成育循環器学、2018、診断と治療社

木次文祥：心臓外科医が書いた正しい心臓解剖図、2014、メディカ出版

	学習項目	担当教員	Keywords
1	上部消化管疾患	松井 裕史	萎縮性胃炎、腸上皮化生、急性胃粘膜病変 (AGML)、Menetrier 病、胃びらん、十二指腸潰瘍、胃潰瘍、Zollinger-Ellison 症候群、塩酸、壁細胞、ペプシン、ガストリン、ソマトスタチン、粘膜、重炭酸、血流、プロスタグランディン、H2 受容体拮抗剤、プロトンポンプ阻害剤、攻撃因子、防御因子、非ステロイド系消炎鎮痛剤 (NSAIDs)、 <i>Helicobacter pylori</i> 、尿素呼吸試験、迅速ウレアーゼ試験、ペプシノーゲン、除菌治療、アモキシシリン、クラリスロマイシン
2	大腸ポリープと良性腸疾患	溝上 裕士	家族性大腸腺腫症、Cronkhite-Canada 症候群、Peutz-Jeghers 症候群、潰瘍性大腸炎、Crohn 病、過敏性腸症候群、吸収不良症候群
3	消化管の悪性腫瘍	森脇 俊和	早期食道癌、進行食道癌、早期胃癌、進行胃癌、肉腫、悪性リンパ腫、消化管間葉系腫瘍 (GIST)、大腸腺腫、早期大腸癌、進行大腸癌、肉眼分類、直腸指診、内視鏡検査、造影検査、組織検査、集団検診、免疫便潜血反応、腫瘍マーカー (CEA, AEP)、悪性サイクル、Virchow 転移、Schnitzler 転移 (Douglas)、Krukenberg 腫瘍、外科的治療、内視鏡的治療 (EMR, ESD)、放射線治療、抗癌剤 (化学療法)
4	肝疾患 (肝炎・肝硬変)	福田 邦明	急性肝炎、急性肝不全、慢性肝炎、肝硬変、食道胃静脈瘤、肝性脳症、A 型・B 型・C 型・E 型肝炎、自己免疫性肝炎 (AIH)、原発性胆汁性胆管炎 (PBC)、アルコール性肝障害、非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)
5	肝胆膵悪性腫瘍	遠藤 壮登	肝細胞性癌、胆道癌、膵癌、膵管内乳頭粘液性腫瘍、膵内分泌腫瘍
6	胆膵良性疾患	長谷川 直之	先天性胆道拡張症、膵・胆管合流異常症、胆嚢炎、胆管炎、原発性硬化性胆管炎、胆のうポリープ、胆のう腺筋腫症、胆のう結石、急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎
7	食道・胃の外科治療	小川 光一	食道癌、胃癌、食道アカラシア、食道裂孔ヘルニア、胃 GIST、NET、手術適応、食道癌手術術式、胃癌手術術式、定型手術、縮小手術、拡大手術、リンパ節郭清、食道再建術、胃再建術、開腹手術、腹腔鏡手術、縦隔鏡手術、ロボット支援下手術、術前化学療法、術後合併症、胃切除後症候群
8	腹部救急疾患、コモンディーズの外科治療	久倉 勝治	急性腹症、腸閉塞 (イレウス)、虫垂炎、急性胆嚢炎、消化管穿孔 (胃潰瘍穿孔、十二指腸潰瘍穿孔、大腸穿孔) の症状と鑑別疾患、尿路結石、大腸憩室炎、腹部交通外傷、刺創、鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア

	学習項目	担当教員	Keywords
9	小腸・大腸の外科治療	榎本 剛史	大腸癌、直腸癌、Dukes 分類、結腸切除術、直腸癌手術、肛門括約筋温存直腸切除術(低位前方、超低位前方)、腹会陰式直腸切断術、Hartmann 手術、側方リンパ節郭清、鏡視下手術、ロボット支援下手術、術前化学・放射線療法、術後補助化学療法、肛門機能、潰瘍性大腸炎、クローン病、大腸全摘術、J型回腸囊肛門(管)吻合術、小腸狭窄形成術、人工肛門造設術、痔核根治術、痔瘻根治術
10	膵・脾疾患の外科治療	小田 竜也	膵癌手術、膵頭十二指腸切除術(PD)、PD 後再建術(Whipple 法、Child 法、今永法)、幽門輪温存 PD、膵体尾部切除、膵空腸吻合法、リンパ郭清・神経叢郭清、膵液漏、胃内容排出遅延、慢性膵炎手術、膵嚢胞腸管吻合術、急性膵炎手術、膵床ドレナージ、術前化学・放射線療法、術後補助化学療法、脾摘術の適応疾患
11	肝・胆道疾患の外科治療	橋本 真治	原発性肝癌、転移性肝癌、転移形式、疫学、解剖、肝予備能、手術適応、術後合併症、集学的治療、肝良性腫瘍、肝移植、胆嚢結石、胆管結石、急性胆嚢炎、胆管癌、胆嚢癌、十二指腸乳頭部癌、閉塞性黄疸、胆管ドレナージ、減黄、根治手術、胆道外瘻術、胆道内瘻術、切石術、胆管形成術
12	術前術後管理	明石 義正	手術侵襲と生体反応、Moore の4相、術前状態の評価と管理、術後管理、Vital sign、術後合併症と対策、体液バランス、栄養法(経口、経静脈経腸、高カロリー輸液)、Multiple Organe Failure (MOF)、Disseminated Intravascular Coagulation (DIC)、Systemic Inflammatory Response Syndrome (SIRS)、Second Attack Theory
13	歯・口腔疾患概論 1	山縣 憲司	う歯(むし歯)、歯周疾患、口腔外科、先天異常、発育異常、骨折
14	歯・口腔疾患概論 2	武川 寛樹	外傷、歯性感染症、顎関節疾患、唾液腺疾患、神経疾患
15	歯・口腔疾患概論 3	柳川 徹	口腔粘膜疾患、良性腫瘍、悪性腫瘍、顎顔面補綴

	学習項目	担当教員	Keywords
1	構造と機能; 診断と検査の基本	千葉 滋	骨髄、幹細胞、分化、造血因子、リンパ組織・臓器、血漿タンパク質、赤血球、ヘモグロビン、白血球、血小板;血球数、骨髄検査、血漿タンパク質、発熱、全身倦怠感、貧血、出血傾向、リンパ節腫脹、脾腫、腫瘤
2	症候と鑑別診断; 疾患(1)貧血	千葉 滋	発熱、全身倦怠感、貧血、出血傾向、リンパ節腫脹、脾腫、腫瘤、貧血の鑑別、欠乏性貧血、溶血性貧血、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血
3	疾患(2)出血性疾患; 疾患(3)造血器腫瘍(i)	千葉 滋	免疫性血小板減少性紫斑病、血友病、播種性血管内凝固、血栓性血小板減少性紫斑病、急性白血病、FAB分類、WHO 分類
4	疾患(4)造血器腫瘍(ii)	千葉 滋	骨髄異形成症候群、慢性骨髄性白血病と骨髄増殖性腫瘍、成熟リンパ系腫瘍(慢性リンパ性白血病、悪性リンパ腫)、多発性骨髄腫
5	輸血の実際	長谷川雄一	適正輸血、輸血計画、輸血副作用

・ リソースパーソン

教員名 オフィスアワー 連絡先(Email アドレス)
 千葉 滋 随時相談
 長谷川 雄一 随時相談

・ 教科書

書名:Principles and Practice 血液・造血器・リンパ系
 著者:千葉滋(編集)、長谷川雄一(編集協力)
 出版社:文光堂 ISBN: 価格:¥7,500
 コメント:必要な情報を網羅している。

・ その他の学習リソース

がん情報サービス <https://ganjoho.jp/public/cancer/index.html> の「血液・リンパ(白血病)
 コメント:国立がん研究センターが運営するサービス。一般向けに作られたもので医学生用ではない。
 患者や家族への目線で書かれているので、イントロダクションとしての活用に向いている。

	学習項目	担当教員	Keywords
1	全身性エリテマトーデス (SLE)、Sjögren 症候群	坪井 洋人	ループス腎炎、CNS ループス、抗リン脂質抗体症候群、抗 DNA 抗体、抗 Sm 抗体、ループス抗凝固因子、抗カルジオリピン抗体、梅毒血清反応生物学的偽陽性、補体、副腎皮質ステロイド、免疫抑制薬、ヒドロキシクロロキン、ベリムマブ、ドライアイ、ドライマウス、抗 SS-A 抗体、抗 SS-B 抗体、新生児ループス、胎児心ブロック
2	関節リウマチ (RA)、悪性関節リウマチ (MRA)、成人発症 Still 病 (AOSD)	萩原 晋也	関節滑膜、Steinbrocker の Stage 分類、RA 分類基準、リウマトイド因子、抗 CCP 抗体、HAQ、DAS28、SDAI、CDAI、間質性肺炎、疾患修飾性抗リウマチ薬、生物学的製剤、サーモンピンク疹、フェリチン
3	全身性硬化症、多発性筋炎・皮膚筋炎、混合性結合組織病 overlap 症候群、UCTD (分類不能症候群)	松本 功	CREST 症候群、Raynaud 現象、proximal scleroderma、sclerodactylia、間質性肺炎、scleroderma renal crisis、抗 topoisomerase I 抗体 (抗 Sc1-70 抗体)、抗セントロメア抗体、抗 RNA ポリメラーゼ III 抗体、heliotrope 疹、Gottron 徴候、creatine kinase (CK)、抗 Jo-1 抗体、抗 ARS 抗体、抗 MDA5 抗体、肺高血圧症、抗 RNP 抗体
4	血管炎症候群、リウマチ性多発筋痛症、Behçet 病	近藤 裕也	高安動脈炎、巨細胞性動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、抗好中球細胞質抗体 (ANCA)、リツキシマブ、トシリズマブ、滑液包炎、ぶどう膜炎、口内炎、結節性紅斑、毛のう炎様皮疹、陰部潰瘍、インフリキシマブ、アダリムマブ

・ リソースパーソン

オフィスアワーは特にもうけていませんのでメールにて連絡を入れて下さい

教員名	専門分野	連絡先 (PHS または Email アドレス)
松本 功 (准教授)	膠原病内科	
坪井 洋人 (講師)	膠原病内科	
近藤 裕也 (講師)	膠原病内科	
萩原 晋也 (病院講師)	膠原病内科	
高橋 広行 (病院講師)	膠原病内科	
安部 沙織 (助教)	膠原病内科	
柳下 瑞希 (助教)	膠原病内科	
藏田 (佐藤) 泉 (助教)	膠原病内科	
大山 綾子 (助教)	膠原病内科	
本田 文香 (助教)	膠原病内科	

・ 教科書

- ・ 住田 孝之編、**EXPERT 膠原病・リウマチ** (改訂第 4 版)、診断と治療社、価格: ¥7,200
- ・ 日本リウマチ学会、日本リウマチ財団編集、**リウマチ病学テキスト** (改訂第 2 版)、診断と治療社、価格: ¥5,500
- ・ その他の学習リソース
 - ・ 膠原病の理解のために (膠原病リウマチアレルギー内科オリジナルテキスト)、1 人 1 冊無料配布 (最初の講義の際)

	学習項目	担当教員	Keywords
1	頭部外傷・神経救急	小松 洋治	急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、慢性硬膜下血腫、頭蓋骨折、頭蓋底骨折、髄液漏、脳挫傷、脳神経損傷、治療、びまん性軸索損傷
2	脳腫瘍	石川 栄一	神経膠腫(グリオーマ)、下垂体腺腫、髄膜腫、胚細胞腫瘍、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、橋神経膠腫、聴神経鞘腫、胚細胞腫、頭蓋咽頭腫、脳原発悪性リンパ腫、転移性脳腫瘍、頭蓋内圧亢進症状、局所神経症状、脳神経症状、内分泌症状、意識障害
3	脳血管障害	佐藤 允之	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、高血圧、高脂血症、脳動脈瘤、脳動静脈奇形、もやもや病、内科的治療、外科的治療、脳血管内治療
4	小児脳神経外科・その他	室井 愛	脳ヘルニア、頭蓋内圧亢進、正常圧水頭症、乳児水頭症、頭蓋縫合早期癒合症、二分脊椎、頭蓋骨椎骨移行部奇形、脊髄空洞症
5	変性疾患、機能性疾患、先天代謝疾患、内科疾患に伴う神経症状、中毒性疾患	玉岡 晃	アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症、Kugelberg-Welander 病、頭痛、てんかん、Werdnig-Hoffman 病、めまい、本態性振戦、Wilson 病、Lesch-Nyhan 症候群、膠原病、内分泌疾患、肝性脳症、尿毒症性脳症、悪性腫瘍の遠隔効果、ビタミン欠乏症、薬物・重金属・CO・アルコール・生物毒素中毒
6	大脳基底核と小脳の神経疾患	中馬越清隆	パーキンソン病、パーキンソン症候群、ハンチントン病、ジストニア症候群、アテトーゼ、舞踏病、脊髄小脳変性症、トリプレットリピート病
7	脊髄疾患、末梢神経疾患	石井 一弘	前脊髄動脈症候群、脊髄出血、脊髄腫瘍、脊髄硬膜外腫瘍、横断性脊髄炎症、脊髄空洞症、後縦靭帯骨化症、末梢神経伝導速度検査、
8	感染症、脱髄疾患、筋疾患	石井亜紀子	脳炎、髄膜炎、亜急性硬化性全脳炎、進行性多巣性白質脳症、HIV 脳症、HAM、多発性硬化症、視神経脊髄炎、重症筋無力症、Lambert-Eaton 症候群、進行性筋ジストロフィー、筋強直性ジストロフィー筋炎、周期性四肢麻痺

・ リソースパーソン

教員名 専門分野 オフィスアワー 連絡先(Email アドレス)
 玉岡 晃(神経内科教授)
 石井一弘(神経内科准教授)
 中馬越清隆(神経内科講師)
 石井亜紀子(神経内科講師)
 伊藤嘉朗 脳神経外科全般

・ 教科書

書名: 脳神経外科学
 著者: 太田富雄 出版社: 金芳堂 ISBN: 978-4-7653-1667-5 価格:
 コメント: 脳神経外科学の全てが網羅的に記載されている

	学習項目	担当教員	Keywords
1	脂質異常症、肥満	島野 仁	カイロミクロン、メタボリックシンドローム、VLDL、LDL、HDL、動脈硬化、ガイドライン、スタチン
2	甲状腺疾患(内科)	大崎 芳典	バセドウ病、Free T4、Free T3、TSH、抗甲状腺剤、無顆粒球症、橋本病、ヨード
3	糖尿病 1	岩崎 仁	1 型糖尿病、2 型糖尿病、インスリン療法、急性合併症、妊娠糖尿病(DM)、慢性合併症、低血糖症
4	糖尿病 2	岩崎 仁	1 型糖尿病、2 型糖尿病、インスリン療法、急性合併症、妊娠糖尿病(DM)、慢性合併症、低血糖症
5	栄養療法	鈴木 浩明	栄養アセスメント、栄養サポートチーム、推定エネルギー必要量、経静脈栄養、経腸栄養
6	副腎疾患	鈴木 浩明	Cushing 症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、adrenogenital syndrome、Addison 病
7	視床下部・下垂体疾患	関谷 元博	フィードバックシステム、負荷試験、下垂体腺腫、先端巨大症、プロラクチノーマ、尿崩症、SIADH
8	乳腺疾患	坂東 裕子	乳癌の疫学、乳癌の診断、手術、乳癌の内分泌療法と化学療法、乳癌温存療法
9	甲状腺疾患(外科)	原 尚人	Basedow 病の治療、Plummer 病の治療、甲状腺結節の種類と診断の進め方、良性腫瘍と悪性腫瘍の治療方針
10	副甲状腺疾患、頸部腫瘍(外科)	原 尚人	

・ リソースパーソン

教員名 専門分野 オフィスアワー 連絡先(Email アドレス)

内科

島野 仁 (内分泌代謝内科学)

鈴木 浩明 (内分泌代謝内科学)

岩崎 仁 (内分泌代謝内科学)

関谷 元博 (内分泌代謝内科学)

大崎 芳典 (内分泌代謝内科学)

外科

原 尚人 (内分泌外科)

坂東 裕子 (乳腺外科)

・ 教科書

書名: ハリソン内科学 第5版(Harrison's Principles of Internal Medicine, 19th Edition)

著者: 福井次矢、黒川清(日本語監修) 出版社:メディカル・サイエンス・インターナショナル

ISBN:978-4-89592-873-1(印刷版)、978-4-89592-913-4(電子版)

価格:29,800 円+税(印刷版、電子版)

コメント:世界的な内科の教科書。症候学や病態生理が詳しい。

・その他の学習リソース

書名: 糖尿病治療ガイド 2018-2019

編集: 日本糖尿病学会 出版社: 文光堂 ISBN: 978-4-8306-1392-0 価格: 800 円 + 税

コメント: 糖尿病治療のエッセンスを学べる

書名: 内分泌代謝科専門医研修ガイドブック

著者: 日本内分泌学会編集 出版社: 診断と治療社 ISBN: 978-4-7878-2292-5 価格: 9,800 円 + 税

コメント: 内分泌代謝科専門医受験向けのテキスト。内分泌代謝疾患を幅広く網羅している

書名: 内分泌外科の要点と盲点 第2版

編集: 小原孝男 出版社: 文光堂 ISBN: 978-4-8306-2323-3 価格: 15,000 円 + 税

内分泌外科手術の際に知っておくべきコツ、陥りやすい落とし穴がカラー写真とシエーマで解説されている。

糖尿病診療ガイドライン 2016

http://www.jds.or.jp/modules/publication/index.php?content_id=4

甲状腺診療ガイドライン 2018 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 Dec 2018 Vol 35 Supplement 3

書名: 甲状腺腫瘍診療ガイドライン 2010 年版

編集: 日本内分泌外科学会/日本甲状腺外科学会 出版社: 金原出版 ISBN: 978-4-307-20283-1

価格: 3,600 円 + 税

	学習項目	担当教員	Keywords
1	原発性糸球体疾患	山縣 邦弘	糸球体疾患の分類、臨床病型分類、組織病型分類、WHO 分類、臨床所見、検査所見、腎生検、治療法、予後、急性糸球体腎炎症候群、急速進行性糸球体腎炎症候群、反復性・持続性血尿、慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群、臨床病型と組織病型の対応
2	急性腎不全・慢性腎不全と透析療法	森戸 直記	急性腎障害(AKI)、慢性腎臓病(CKD)、生活習慣病、メタボリックシンドローム、栄養療法、運動療法、薬物療法、血液浄化療法、腎代替療法、血液透析、腹膜透析、腎移植
3	続発性腎疾患	臼井 丈一	ループス腎炎、アミロイドーシス、糖尿病性腎症、紫斑病性腎炎、妊娠中毒症、腎硬化症、クリオグロブリン血症、骨髄腫、痛風腎
4	水電解質異常と酸塩基平衡障害	金子 修三	低 Na 血症、高 Na 血症、低 K 血症、高 K 血症、低 Ca 血症、高 Ca 血症、CKD-MBD(慢性腎臓病に伴う骨ミネラル代謝異常)、副甲状腺ホルモン、ビタミン D、酸塩基平衡障害
5	間質尿細管疾患と遺伝性腎疾患	甲斐 平康	尿細管性アシドーシス(RTA)、代謝性アシドーシス、高 K 血症、多発性嚢胞腎、アルポート症候群、良性家族性血尿症候群
6	尿路性器腫瘍・副腎疾患	木村 友和	腎細胞癌、腎芽細胞腫、腎血管筋脂肪腫、尿路上皮腫瘍、膀胱腫瘍、腎盂尿管腫瘍、前立腺癌、精巣腫瘍、陰茎腫瘍、原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫
7	尿路閉塞性疾患・神経因性膀胱・尿路性器感染症	根来 宏光	水腎症、腎盂尿管移行部狭窄症、膀胱尿管逆流症、前立腺肥大症、神経因性膀胱、特異(非特異)的感染症、単純(複雑)性感染症、基礎疾患、腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎、前立腺炎、精巣上体炎、STD、尿路性器結核
8	尿路結石症・男子不妊症・性分化異常・勃起不全・腎移植	吉野 喬之	尿路結石症、男性不妊症、精索静脈瘤、性分化異常、半陰陽、ターナー症候群、クラインフェルター症候群、XX 男性、ED(勃起不全)、腎移植
9	泌尿器科的症候と検査・尿路性器奇形・尿路性器外傷・女性泌尿器科疾患	星 昭夫	血尿、膿尿、混濁尿、無尿、乏尿、尿閉、多尿、頻尿、尿失禁、排尿困難、尿沈渣、直腸指診、腫瘍マーカー(AFP、 β HCG、PSA)、KUB、IVP、AP、RP、VCG、TRUS、UFM、UDS、嚢胞腎、馬蹄腎、重複腎盂尿管、尿道下裂、停留精巣、腎血管性高血圧症、尿路外傷、性器外傷、女性泌尿器科疾患

・ リソースパーソン

教員名 専門分野 オフィスアワー 連絡先(Email アドレス)

<腎臓内科>

山縣 邦弘 腎臓内科
 臼井 丈一 腎臓内科
 森戸 直記 腎臓内科
 甲斐 平康 腎臓内科
 金子 修三 腎臓内科
 永井 恵 腎臓内科

<泌尿器科>

西山 博之 泌尿器科
 河合 弘二 泌尿器科
 小島 崇宏 泌尿器科
 星 昭夫 泌尿器科
 根来 宏光 泌尿器科
 神鳥 周也 泌尿器科
 木村 友和 泌尿器科

・ 教科書

腎臓内科

- ・教科書:標準生理学(第8版)小澤澗司、福田康一郎 編(医学書院)12、960 円
- ・教科書:体液異常と腎臓の病態生理 第3版 ヘルムート G. レンケ(著)黒川 清(監修)(メディカル サイエンス インターナショナル) 定価 6,246 円
- ・教科書:NEW エッセンシャル腎臓内科学 富野 康日己(編集)(医歯薬出版) 定価 6,696 円
- ・教科書:臨床腎臓内科学 聖マリアンナ医科大学准教授 安田 隆 他編(南山堂) 定価 21,600 円
- ・教科書:シュライアー腎臓病と病態生理:Schrier: Renal and Electrolyte Disorders, 7th ed.南学正臣(監修)(メディカル サイエンス インターナショナル) 定価:10,800 円
- ・教科書:朝倉内科学(第11版)矢崎義雄 総編集(朝倉書店) 定価:26,782 円

泌尿器科

- ・教科書:**標準泌尿器科学 第9版** ←生殖系コースでも教科書に指定されています。
 監修:赤座 英之 編集:並木 幹夫/堀江 重郎
 発行 2014年02月 定価 6,696 円(本体 6,200 円+税 8%)ISBN978-4-260-01870-8
- ・教科書:**Smith and Tanagho's General Urology, 19th Edition**
 編集者:Tanagho、McAninch、 出版社: McGraw-Hill Education / Medical; 19 版
 ISBN-10: 1259834336 ISBN-13: 978-1259834332、価格:約¥13,000

・ その他の学習リソース

腎臓内科

- ・Oxford Textbook of Clinical Nephrology (Ed.4) Neil Turner 他(著)(Oxford University Press) 定価:97,702 円
- ・Brenner and Rector's the Kidney(Ed.10) Karl Skorecki 他(著)(Elsevier) 定価:62,488 円
- 参考書:Campbell-Walsh Urology 9th edition、ISBN:0721607985、価格:約 6 万円
 編集者:Wein、Kavoussi、Novick、Partin、Peters、 出版社:Saunders

泌尿器科

- ・Campbell-Walsh Urology 9th edition、ISBN:0721607985、価格:約 6 万円
 編集者:Wein、Kavoussi、Novick、Partin、Peters、 出版社:Saunders
- ・参考書:病気がみえる vol.8:腎・泌尿器 出版社:メディックメディア; 第2版
 価格:約 3500 円 ISBN-10: 4896325443、ISBN-13: 978-4896325447

	学習項目	担当教員	Keywords
1	中枢神経系画像診断	増本 智彦	脳腫瘍、脳血管障害、中枢神経系奇形、頭部外傷、CT、MRI
2	胸部画像診断	岡本 嘉一	肺腫瘍、肺胞性病変、間質性病変、単純写真、CT、縦隔腫瘍
3	腹部・骨盤画像診断	森 健作	胃癌、結腸癌、肝癌、膵癌、血管造影、CT、MRI、腎癌、子宮癌、US
4	核医学診断	金田 朋洋	放射性医薬品、集積機序、骨、心筋血流、脳血流、SPECT、PET
5	放射線腫瘍学総括	櫻井 英幸	卒前コア・カリキュラムにもとづく学習、放射線物理・生物・腫瘍学のポイント
6	Laboratory Medicine (1)	磯部 和正	正常値の概念、感度・特異度、プレアナリシス
7	Laboratory Medicine (2)	加藤 貴康	血液・凝固検査・腫瘍マーカー
8	Laboratory Medicine (3)	竹越 一博	遺伝子検査
9	Laboratory Medicine (4)	川上 康	免疫血清検査

・ リソースパーソン

教員名	専門分野	連絡先(Email アドレス)
増本智彦	放射線診断学	
森 健作	放射線診断学・IVR	
櫻井 英幸	放射線治療学	
川上 康	臨床病理学	

・ 教科書(放射線医学のみ)

- ① 標準放射線医学 第7版
監修: 西谷 弘、他、860 ページ、2011、医学書院、10,500 円
コメント: 放射線腫瘍学も含め、放射線医学全体を医学生用に網羅した教科書。2011 年に新版が出て内容もより素晴らしくなった。Web 上の画像サイトも有用であり、1 冊持つのであればこれがよい。
- ② 人体解剖アトラス
コメント: 何か1冊。Netter でも Grant でも Sobotta でも何でも可(自分の気にいったもの)。ただし系統解剖よりも局所解剖でまとめているものが良い。外科に限らず、臨床医を志す場合は必須。
- ③ 画像で見る人体解剖アトラス 原著第4版
著者: Weir J, 福田国彦(翻訳)、272 ページ、2013、エルゼビア・ジャパン、8,400 円
コメント: 臨床医にとって画像アトラスはいずれ何かしらが必要であるが、現在出版されている本の中では多種の検査の画像を含んでおり値段も比較的抑えられており最も有用と考える。ただし実際の研修ではさらに横断画像解剖のアトラスも必要となるかもしれない。
- ④ メディカルノート画像診断
著者: 小川敏英、283 ページ、2007、西村書店、1,890 円
コメント: 内容は放射線診断に限られるが最新のデータ・画像がかなり使われている上、何ととっても値段が安い。

- ・ その他の学習リソース
特になし。

	学習項目	担当教員	Keywords
1	全身麻酔	猪股 伸一	ガス麻酔薬、揮発性麻酔薬、血液/ガス配分係数、最小肺泡濃度 (MAC)、静脈麻酔薬、完全静脈麻酔、基本的モニタリング
2	硬膜外麻酔と脊髄くも膜下麻酔	田中 誠	局所麻酔薬、局麻薬中毒、脊髄くも膜下麻酔、PDPH、高比重液、低比重液、硬膜外麻酔、Tuohy 針、dermatome、test dose、サドルブロック
3	各種疾患患者の麻酔	福田 妙子	高血圧、虚血性心疾患、不整脈、心不全、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患、糖尿病、甲状腺機能異常、副腎機能異常、肝硬変、低蛋白血症、腎不全、頭蓋内圧亢進、脳虚血、特発性血小板減少症、DIC、重症筋無力症、新生児、高齢者、肥満、妊婦、心筋酸素需給バランス、低酸素性肺血管収縮 (HPV)、仰臥位低血圧症候群、Mendelson's syndrome
4	脳心肺蘇生法	中山 慎	心肺蘇生、脳蘇生、脳保護、救命の連鎖、自動対外除細動器、AED
5	腫瘍(1)	小田 竜也	遺伝子の病としてのがん、癌抑制性遺伝子、癌遺伝子、多段階発癌、癌幹細胞理論、癌微小環境、癌・間質相互作用、転移の機序、TNM 分類、がんによる症状、死因
6	腫瘍(2)	関根 郁夫	がんの疫学と診断、化学療法、ホルモン療法、ドライバー遺伝子変異阻害剤、免疫チェックポイント阻害薬、がん薬物動態学と薬力学、がんゲノム医療、併用療法
7	手術無菌法、基本的手術操作	倉田 昌直	洗浄、消毒、滅菌、滅菌のインジケータ、手術部位感染 (surgical site infection:SSI)、予防的抗菌薬投与、CDC
8	手術前後管理、手術合併症	明石 義正	術前・術後管理、周術期、栄養療法、Pharmacnutrient、Tight Glycemic Control (TGC)、手術適応、Surgical risk、高齢者、手術合併症、Technical complications、High volume hospital
9	中毒と物理的要因	井上 貴昭	血液浄化法、特異的拮抗薬、メトヘモグロビン血症、CO、医薬品、農薬、自然毒、熱中症、低体温症、減圧症、高山病
10	外傷、熱傷、ショック、災害医療	丸島 愛樹	外傷の初期治療、熱傷の病態と治療、ショックの診断と治療、トリアージ、災害医療
11	形成外科における再建手技	関堂 充	有茎皮弁・マイクロサージャリー
12	皮膚腫瘍・血管腫・リンパ管腫、熱傷	佐々木 正浩	皮膚腫瘍、血管腫、リンパ管腫、熱傷、植皮
13	先天異常・難治性潰瘍	相原有希子	唇裂・口蓋裂、その他の先天異常、創傷治癒
14	外傷・手足の先天異常	佐々木 薫	顔面外傷・手足の外傷、手足の先天異常
15	疾病とリハビリテーション	羽田 康司	脳血管障害、脊髄損傷、脳性麻痺、生活機能、理学療法、作業療法、言語聴覚療法
16	障害者の心理社会的側面	上野 友之	参加制約(社会的不利)、ノーマライゼーション、障害受容

1. リソースパーソン(自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。)

教員名	専門分野	オフィスアワー
田中 誠	(麻酔学)	
猪股 伸一	(麻酔学)	
小田 竜也		随時
倉田 昌直		
明石 義正		
関根郁夫	腫瘍内科	

2. 教科書

書名: **標準麻酔科学 第7版**、著者:古家仁監修
出版社:医学書院、2018、価格:¥5,616、ISBN-13 978-4260030304

書名: **JRC 蘇生ガイドライン 2015**、著者:日本蘇生協議会監修
出版社:医学書院、2016、価格:¥4,860、ISBN-13 978-4260025089

書名:新臨床腫瘍学(改訂第5版)
著者:日本臨床腫瘍学会編 出版社:南江堂 ISBN:978-4524237883 価格:16,200
コメント:臨床腫瘍学の基本的な教科書

書名:Holland-Frei Cancer Medicine(改訂第9版)
著者:Robert C. Bast Jr., 他編 出版社:Wiley-Blackwell ISBN:978-1118934692 価格:25,838
コメント:臨床腫瘍学の基本的な教科書。図書館に置いてあります。

書名:Approach to patients with cancer. In: Harrison's Principles of Internal Medicine(改訂第20版)
著者:J. Larry Jameson, 他編 出版社:McGraw-Hill Education / Medical ISBN:978-1259644030
価格:22,968
コメント:簡潔なまとめで有用です。図書館(1Fと2F)に置いてあります。

3. その他の学習リソース

書名: **BLS プロバイダーマニュアル AHA ガイドライン 2015 準拠**、著者:American Heart Association
出版社:シナジー、2016、価格:¥4,212、ISBN-13 978-4916166678
コメント:BSLの勉強に必須

書名: **ACLS プロバイダーマニュアル AHA ガイドライン 2015 準拠**、著者:American Heart Association
出版社:シナジー、2017、価格:¥7,560、ISBN-13 978-4916166715
コメント:ACLSの勉強に必須

	学習項目	担当教員	Keywords
1	小児科総論	高田 英俊	胎児発育曲線、カウプ指数、発達里程標、TORCHES、IUGR、栄養所要量、母乳栄養、乳幼児健康診査、年齢別死因
2	小児の感染免疫・呼吸器疾患・アレルギー、小児膠原病	高田 英俊	ウイルス、細菌、真菌、原虫、予防接種、原発性免疫不全症候群、T細胞不全、B細胞不全、クループ・細気管支炎、気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、JRA
3	消化器肝胆道疾患	田川 学	急性胃腸炎、下痢症、消化性潰瘍、肝内胆汁うっ滞、胆道閉鎖症、新生児肝炎、肝炎ウイルス
4	小児の先天代謝異常・代謝・内分泌疾患	岩淵 敦	小児の1型糖尿病、小児肥満、低身長、成長ホルモン分泌不全性低身長症、体質性低身長、思春期早発症、先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成、くる病、新生児マススクリーニング、酸血症、高アンモニア血症、制限食、ライソゾーム酵素異常
5	新生児疾患、先天奇形	宮園 弥生	低出生体重児、small-for-dates 児、ハイリスク児、Apgarスコア、分娩外傷、呼吸窮迫症候群、未熟児無呼吸発作、壊死性腸炎、核黄疸、低血糖、メナ、21トリソミー、18トリソミー
6	川崎病、遺伝性不整脈、染色体異常に伴う循環器疾患	堀米 仁志	川崎病、冠動脈瘤、リウマチ熱、感染性心内膜炎、小児の不整脈、先天性房室ブロック、先天性QT延長症候群、新生児持続性肺高血圧、NO吸入療法、肺高血圧の薬物療法、隣接遺伝子症候群
7	小児の血液疾患・新生物	福島 絃子	血球の年代別推移、小児血液良性疾患、小児血液悪性疾患、小児がんの特徴、小児がんサバイバー、先天奇形に合併する小児がん、好発年齢、成人疾患との相違
8	小児の腎・尿路疾患	岩淵 敦	小児腎疾患の分類、急性腎炎、慢性腎炎、ネフローゼ症候群、腎盂腎炎、小児の尿路感染症、尿細管アシドーシス、ファンコニー症候群、腎とカルシウム代謝
9	小児の神経・筋疾患	大戸 達之	変性疾患、神経系感染症、小児の痙攣、脳性麻痺、精神遅滞、floppy infant、脊髄性筋萎縮症、筋ジストロフィー症、先天性ミオパチー
10	小児外科診断治療総論	新開 統子	小児新生児外科疾患の来院時処置、小児の検査、緊急患者の来院時処理、呼吸管理、栄養、感染、外傷
11	小児外科腹部疾患の診断と治療	高安 肇	肥厚性幽門狭窄症、胃軸捻、胃十二指腸潰瘍、消化管穿孔、腸閉鎖・狭窄、腸回転異常、メコニウムイレウス、胎便性腹膜炎、壊死性腸炎、Hirschsprung病、直腸肛門奇形、腸重積、Meckel憩室、腸管重複症、急性虫垂炎、痔瘻、胆道閉鎖症、胆道拡張症
12	小児外科胸部疾患および体表疾患の診断と治療	瓜田 泰久	食道閉鎖症、肺嚢胞性疾患、横隔膜ヘルニア、食道狭窄、食道裂孔ヘルニア、気管軟化症、胸壁異常、臍帯ヘルニア、腹壁破裂、臍瘻、臍ヘルニア、鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、停留精巣、精巣回転症、脊髄髄膜瘤、頸部リンパ管腫、甲状舌管嚢胞および瘻、側頸瘻
13	小児悪性固形腫瘍の診断と治療	増本 幸二	腫瘍性疾患の部位別分類、小児悪性腫瘍の特徴と診断手順、神経芽種、腎芽種、肝芽腫、奇形腫群腫瘍、横紋筋肉腫、血管腫、リンパ管腫、グルーパスタディ

小児内科

・ リソースパーソン

教員名 専門分野 オフィスアワー 連絡先(Email アドレス)

*問い合わせは成育支援室

教員名	専門分野
高田 英俊	小児科学総論、免疫不全、膠原病
堀米 仁志	循環器
宮園 弥生	新生児
大戸 達之	神経・運動発達、神経筋疾患、発達障がい
田川 学	消化器
高橋 実穂	循環器、小児科学総論
岩淵 敦	内分泌・代謝、腎疾患、救急
福島 絃子	血液、腫瘍、遺伝医学
鈴木 涼子	血液、腫瘍

・ 教科書

書名: **標準小児科学(第8版)**、著者:内山 聖 監修

出版社:医学書院、価格:8,800 円

コメント:本書は医学生向け教科書として「正確で、欠落した部分がなく、しかもわかりやすい」との評価を得ている。最新の小児科学を意識して編集された充実版。

書名: **小児科学(第10版)**、著者:五十嵐 隆 編

出版社:文光堂、価格:24,000 円

コメント:本書では小児の生理学的特性や心身の発達などを含め小児科学の重要な項目すべてが適切かつ簡潔に記載されており、我が国の学生、医師、コメディカルにとって最も良質な小児科学の教科書の1つである。小児科学の伝統を踏まえ、時代の要請に応える内容を持つ。

・ その他の学習リソース

参考書:Nelson Textbook of Pediatrics (第20版)

出版社:W.B. Saunders、価格:16,632 円(変動あり)

コメント:小児科学の「バイブル」。本書は最先端の小児内科・外科疾患の全てを網羅しており、遺伝学、内分泌学、病因学、疫学、病理学、病態生理学、診断学、予防、治療、予後についてのもっとも信頼性の高いテキストである。

・ オンラインサイト

日本小児科学会ホームページ <https://www.jpeds.or.jp/>

日本小児外科学会ホームページ <http://www.jsps.gr.jp/for-aspirant/general/disease>

日本肝移植研究会ホームページ 肝移植症例登録報告 2004 <http://jlts.umin.ac.jp/Regist>

小児外科

・ リソースパーソン

教員名	専門分野	連絡先
増本 幸二	新生児外科、小児泌尿器外科	
高安 肇	新生児外科、小児腫瘍	
新開 統子	小児外科、小児腫瘍	
瓜田 泰久	小児泌尿器外科、新生児外科	

・ 教科書

書名:標準小児外科学 第7版,

著者:高松英夫・福澤正洋 監修, 出版社:医学書院, ISBN:978-4-260-02780-9, 価格:7,000 円+税

コメント:小児外科教科書のスタンダード

書名:系統小児外科学

著者:福澤正洋・中村哲郎・窪田昭夫 編著, 出版社:永井書店, ISBN:978-4-8159-1911-5

価格:¥23,000 円+税

• その他の学習リソース

書名:Pediatric Surgery(第7版)

著者:Arnold G. Coran, et al. 編集, 出版社: Mosby、ISBN: 978-0-323-07255-7, 価格: \$ 415.00

コメント:小児外科医必携の教科書

書名:小児の静脈栄養マニュアル

著者:土岐 彰・増本幸二 編集, 出版社 メジカルビュー社, ISBN:978-4-7583-1234-9,

価格:4,500 円+税

日本小児外科学会ホームページ <http://www.jsps.gr.jp>

	学習項目	担当教員	Keywords
1	産科婦人科学概論	佐藤 豊実	婦人科腫瘍学、周産期医学、生殖医学、女性医学、ライフサイクル
2	母子感染	小島 真奈	垂直感染、子宮内感染、産道感染、経母乳感染、HBV: hepatitis B virus、HCV: hepatitis C virus、HIV: human immunodeficiency virus、HTLV-1: human T-lymphotropic virus 1、TORCH: Toxoplasma gondii、Treponema pallidum、rubella virus、CMV: cytomegalovirus、HSV: herpes simplex virus、parvovirus B19、VZV: varicella-zoster virus、Chlamydia trachomatis、Neisseria gonorrhoeae、GBS: Group B streptococcus、HPV: human papillomavirus、Candida albicans
3	個別的妊娠管理と合併症妊娠の対策	大原 玲奈	妊娠高血圧症候群、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、既往帝切妊娠、骨盤位、産科ショック、妊娠継続の可否判定、分娩様式、合併症妊娠
4	Non-reassuring fetal status と分娩管理	阿部 春奈	Non-reassuring fetal status、胎児機能不全、胎児血 pH、分娩監視装置、胎児心拍数陣痛図(CTG)、variability、acceleration、deceleration、分娩誘発法、oxytocin、prostaglandin
5	女性不妊の診断と治療	川崎 彰子	不妊症、不育症、多嚢胞性卵巣症候群、高プロラクチン血症、子宮内膜症、子宮筋腫、早発閉経、無精子症、卵管水腫、子宮奇形、頸管無力症、抗リン脂質抗体症候群、染色体均衡型相互転座、排卵誘発、腹腔鏡、子宮鏡、卵管鏡、生殖補助医療技術(ART)、人工授精、体外受精-胚移植(IVF-ET)、顕微授精(ICSI)、胚凍結保存、精巣内精子採取術(TESE)、卵巣過剰刺激症候群、多胎妊娠、減数手術、Y染色体微小欠失、配偶子提供、胚提供、代理懐胎、胚培養士、不妊カウンセリング、卵子・卵巣凍結、着床前遺伝子診断、核移植、ES細胞
6	子宮悪性腫瘍	越智 寛幸	SC Junction、予備細胞、扁平上皮化生細胞、核異常細胞、異形成(子宮頸部上皮内腫瘍)、浸潤癌、検査・診断、子宮頸癌の臨床進行期分類、子宮体(内膜)癌の臨床進行期分類、手術療法、放射線療法、化学療法、Neoadjuvant chemotherapy、RALS、A点・B点線量、HPV
7	婦人科良性疾患	水口 剛雄	子宮筋腫、子宮内膜症、子宮腺筋症、良性卵巣腫瘍、絨毛性疾患、更年期障害、性器脱、性感染症
8	卵巣悪性腫瘍	佐藤 豊実	組織分類、検査・診断、画像断層法、腫瘍マーカー、進行期分類、手術療法、化学療法

・ リソースパーソン

教員名	専門分野	連絡先(Email アドレス)
佐藤 豊実	産婦人科学	
濱田 洋実	〃	
水口 剛雄	〃	
小島 真奈	〃	
川崎 彰子	〃	
越智 寛幸	〃	
大原 玲奈	〃	
阿部 春奈	〃	

・ 教科書

・標準産科婦人科学(第4版)

編著:岡井 崇・綾部 琢哉編、出版社:医学書院、ISBN:978-4-260-01127-3、価格:税込 9,020 円

・ その他の学習リソース

参考書

・産婦人科診療ガイドライン婦人科外来編 2020

編者:日本産科婦人科学会編、出版社:日本産科婦人科学会

・産婦人科診療ガイドライン産科編 2020

編者:日本産科婦人科学会編、出版社:日本産科婦人科学会

・産婦人科研修の必修知識 2016-2018

編者:日本産科婦人科学会編、出版社:日本産科婦人科学会、ISBN:978-4-907890-08-7

・産科婦人科用語集・用語解説集(改訂第4版)

編者:日本産科婦人科学会編、出版社:日本産科婦人科学会、ISBN:978-4-907890-17-9

・Clinical Gynecological Oncology (第9版)

編者:DiSaia, Creasman 編、出版社:Elsevier、ISBN: 9780323400671

・Willias Obstetrics (第25版)

編者:Cunningham, Leveno 編、出版社:McGRAW-HILL、ISBN: 9781259644320

・産婦人科の画像診断

著者:田中優美子、出版社:金原出版、ISBN:978-4-307-07096-6

	学習項目	担当教員	Keywords
1	疫学の基本	我妻ゆき子	疫学的因果関係、率と割合と比、罹患率、有病率、死亡率、累積罹患率、致死率、死亡割合、人年法、年齢調整死亡率、ランダム化比較試験、コホート研究、ケースコントロール研究、相対危険度、寄与危険度、オッズ比、交絡因子、バイアス
2	統計手法	五所 正彦	要約統計量(平均値、中央値、標準偏差、四分位点)、仮説検定、 α エラー、 β エラー、有意水準、p 値、点推定、区間推定(95%信頼区間)、相関分析、回帰分析、生存時間解析、メタアナリシス
3	国際保健と医療経済	大久保 麗子	国際保健、国際医療協力、社会保障制度、公費医療、医療経済、費用対効果分析、
4	医療供給体制と医療従事者	森 隆浩	病院、診療所、病床、医師、コメディカル、地域差、国民医療費の推移、国際比較、出来高払い制、診療報酬制度、薬剤比率、医薬分業、療養担当規則
5	医療関係法規	岩上 将夫	医療法、医師法、薬事法、感染症法、高齢者の医療の確保に関する法、地域保健法、健康増進法、健康保険法、その他の関係法規
6	公衆衛生と医療-ヘルスサービスリサーチを通して	田宮菜奈子	社会環境の変動と国民の健康、ICF(国際機能分類)、ノーマライゼーション、公衆衛生と医療、障害者基本計画、在宅医療、介護保険施設、居宅サービス、居宅介護支援、要介護認定、地域包括支援センター、医療安全支援センター、保険・医療・福祉介護事業者の現状と役割、連携とチーム医療、地域連携クリニカルパス、ヘルスサービスリサーチ、アウトカム評価、PDCA サイクル、ドナベディアン3 概念
7	成人保健・国民栄養	山岸 良匡	主な生活習慣病(悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、高血圧、糖尿病)の罹患と死亡、健康日本 21、特定健康診査、一次予防、二次予防、三次予防、国民栄養、栄養状態の評価、国民健康・栄養調査、健康増進法
8	人類遺伝学:ヒトゲノム多様性と疾患	土屋 尚之	ヒトゲノム、遺伝様式、家系図、単一遺伝子疾患、多因子疾患、ヒトゲノム多様性、バリエーション、SNV、疾患感受性遺伝子、薬剤応答性関連遺伝子、ゲノムワイド関連研究、エクソーム解析、全ゲノムシーケンス解析、臨床的・シーケンス、個別化医療、precision medicine、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針
9	母子保健	柳 久子	出生、乳児死亡、新生児死亡、周産期死亡、死産、妊産婦死亡、児童死亡、母子保健法、児童福祉法、母子保健対策

	学習項目	担当教員	Keywords
10	我国の社会保障制度	市川 政雄	公的扶助(生活保護)、社会福祉(障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉)、社会保険(年金保険、医療保険、介護保険、雇用保険、労災保険)
11	高齢者福祉	堀 愛	高齢者医療制度、介護保険制度、在宅ケア、介護予防、地域包括ケア、認知症対策
12	精神保健福祉	斎藤 環	精神保健福祉法、保護者、精神保健指定医、任意入院、医療保護入院、応急入院、措置入院、自傷他害のおそれ、精神保健福祉センター、デイケア、社会復帰施設、精神障害者保健福祉手帳、障害者自立支援法、心神喪失者等医療観察法、麻薬及び向精神薬取締法、大麻取締法、覚せい剤取締法、毒物および劇物取締法
13	学校保健	森田 展彰	学校保健安全法、学校保健計画、校医、学校薬剤師、保健主事、養護教諭、就学前健康診断、定期健康診断、出席停止、臨時休業、学校環境衛生、学校保健統計調査、突然死、長期欠席者、不登校、いじめ
14	環境保健制度と産業中毒	熊谷 嘉人	環境基本法・公害健康被害の補償等に関する法律・水道法・下水道法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)・環境の概念・生態系と生物濃縮・有害物質の吸収、排泄・地球温暖化・オゾン層破壊・酸性雨・砂漠化・大気汚染とその指標・水質汚濁とその指標・土壌汚染・外因性内分泌攪乱化学物質・ダイオキシン類・農薬・貴金属類
15	産業保健制度と産業医	大井 雄一	【産業保健】労働基準法・労働安全衛生法・労働者災害補償保健法・じん肺法 【産業医と労働安全衛生法】管理体制・産業医の資格と職務・職場の3管理(作業管理・作業環境管理・健康管理)許容濃度・管理濃度・生物学的モニタリング・労働災害・トータルヘルスプロモーション(THP)・労働安全衛生マネジメントシステム
16	職業性疾患と環境因子による障害	笹原信一郎	【職業性疾患】職業病・じん肺・作業態様による傷害・職業性腰痛・職業性頸肩腕障害・VDT 障害・職業性アレルギー・酸素欠乏症・作業関連疾患 【物理的原因による疾患及びその他の生活環境因子による障害】低温・高温環境による疾患・電離放射線障害・非電離放射線障害・気圧による障害・騒音障害・振動障害・家庭用品による中毒・家庭におけるアレルギー・過敏症(化学物質過敏症)・シックハウス・シックビル症候群・事故による障害・金属中毒・ガス中毒・有機溶剤中毒・有機化学物質中毒・無機化学物質中毒
17	食中毒・食品保健	梅澤 光政 (獨協医科大学)	食中毒、食品中の汚染物質、食品添加物、保健機能食品、特別用途食品、健康食品、遺伝子組換え食品
18	法医学と関連法規(1)	本田 克也	死体検案、検案書の書き方、異状死体、死体解剖保存法、親子鑑定、DNA 鑑定の実際、監察医制度
19	法医学と関連法規(2)	本田 克也	司法解剖、刑事訴訟法、刑事責任、民事責任、法と裁判、人の死と法的手続き

	学習項目	担当教員	Keywords
1	感染症学(1)	喜安 嘉彦	結核、肺炎
2	感染症学(2)	栗原 陽子	HIV 感染症などの性感染症
3	感染症学(3)	人見 重美	院内感染
4	感染症学(4)	小金丸 博 (東京都健康長寿医療 センター)	重症感染症、菌血症、髄膜炎
5	感染症学(5)	大前比呂思 (城南病院附属クリニック)	寄生虫感染症、熱帯感染症

・ リソースパーソン

教員名 専門分野:人見重美(感染症科)オフィスマワー

・ 教科書

書名: レジデントのための感染症マニュアル

著者: 青木真 出版社:医学書院 ISBN:9784260020275 価格:10800 円

コメント:感染症の基本的な診療原則が記載され、情報量も豊富である。

・ その他の学習リソース

書名: 絶対わかる抗菌薬はじめの一步

著者:矢野晴美 出版社:羊土社 ISBN:9784758106863 価格:3564 円

コメント:抗菌薬について簡潔にまとめられている。

	学習項目	担当教員	Keywords
1	臨床疫学の基本	我妻ゆき子	問題の定式化、情報収集法、批判的吟味、リサーチクエスション、臨床研究デザイン、診療ガイドライン、メタアナリシス、対象者の定義、サンプリング、患者登録、内的妥当性、外的妥当性、バイアス、交絡因子、アウトカム、サンプルサイズ、臨床研究に関する倫理指針、個人情報の保護
2	臨床試験の意義	荒川 義弘	臨床試験、治験、GCP
3	根拠に基づいた医療 (EBM)	前野 貴美	EBM、研究デザイン、二次資料、NNT、診療ガイドライン
4	生活習慣病とリスク	阪本 直人	ヘルスプロモーション、行動変容、食・運動習慣、心の健康、喫煙・飲酒、生涯設計
5	医療の ICT 化・個人情報の保護	大原 信	電子カルテ、標準化、医療ビッグデータと A.I.、情報セキュリティ、個人情報保護
6	医療の質と安全の確保	本間 覚	医療安全、医療事故の防止、患者のリスクを低減させる戦略、医療危機管理、インシデント等報告制度、再発防止対策、病院機能評価、ISO、患者満足度、セカンドオピニオン、医薬品の安全性情報、医薬品の副作用の早期発見
7	医のプロフェッショナリズム	長瀬 啓介 (金沢大学)	プロフェッショナリズム、職業倫理、技術体系、倫理綱領、医師の権限(裁量)、医師の職業倫理指針、医師憲章
8	主要医療関連法規	長瀬 啓介 (金沢大学)	医師法、刑法、民法、インフォームド・コンセント、注意義務、患者の人権、損害賠償責任、個人情報保護
9	医療保険制度について	海老原次男 (茨城県医師会)	医療保険のしくみについて、保険診療の実際について
10	医療事故について	間瀬憲多朗 (茨城県医師会)	医療事故、医療過誤、医事紛争、事故発生後の処理・届出、インフォームド・コンセント、情報開示、患者の安全確保、プロフェッション、ハインリッヒ
11	臓器移植	高橋 一広	脳死移植、臓器移植法、日本臓器移植ネットワーク、臓器提供意思表示カード、法的脳死判定、生体移植、渡航移植、医療倫理
12	緩和医療(1)	濱野 淳	緩和医療の概念、全人的苦痛の緩和、専門的緩和ケア(緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、在宅緩和ケア)、基本的緩和ケア
13	緩和医療(2)	濱野 淳	がん性疼痛の評価と治療、呼吸困難の評価と治療、WHO 方式がん疼痛治療法、オピオイド、オピオイドローテーション
14	加齢と老化	籠橋 克紀	細胞老化、加齢と老化の相違、加齢による臓器機能の変化、高齢者疾患の特徴、老年症候群、高齢者総合機能評価(CGA)

3. 根拠に基づいた医療 (EBM)

- ・ リソースパーソン

教員名: 前野貴美 専門分野: 総合診療

- ・ 参考書

書名: 基礎から学べる! EBM

著者: 名郷直樹、南郷栄秀 出版社: 医学出版 ISBN: 978-4-287-11110-9 価格: 4,500 円

コメント: 臨床現場での EBM の実践に活用できるようにわかりやすくまとめられている。

- ・ その他の学習リソース

The SPELL (The Square of Practicing EBM and Lifelong Learning)

URL: <http://spell.umin.jp/index.htm>

コメント: EBM についての解説, 生涯学習のための学習法, EBM 勉強会の紹介, EBM に関する教材や資料, EBM ワークショップなどの EBM に関するイベントの紹介などが紹介されているサイト。

4 生活習慣病とリスク

- ・ リソースパーソン

教員名: 阪本直人 専門分野: 総合診療

- ・ 教科書

書名: ヘルスリテラシー : 健康教育の新しいキーワード

著者: 福田 洋 (編集), 江口 泰正 (編集), 中山 和弘 (著) 出版社: 大修館書店

ISBN: ISBN-10: 4469267953 / ISBN-13: 978-4469267952 価格: 2,052 (税込)

コメント: ヘルスリテラシーについて理解し、実践をしてみるのに適した良書

5 医療の ICT 化・個人情報の保護

- ・ リソースパーソン

教員名 専門分野 オフィスアワー 連絡先 (Email アドレス)

大原 信 医療情報マネジメント学

- ・ 教科書 (あくまで参考書である)

書名: 医療情報 第5版 医療情報システム編

編集: 日本医療情報学会医療情報技師育成部会 出版社: 篠原出版

ISBN: 978-4-88412-387-1 価格: 3300 円+税

コメント: 医療情報技師用のテキストである。簡潔にまとめられているが、必要な情報はほとんど網羅している。

- ・ その他 学習リソース

医療情報の標準化等についての最新動向は、

「医療情報標準化推進協議会 (HELICS 協議会)」HP <http://helics.umin.ac.jp/>

「医療情報システム開発センター (MEDIS)」HP <http://www.medis.or.jp/>

「日本 IHE 協会」HP <http://www.ihe-j.org/>

等が 精確かつ詳細である。

12・13 緩和医療 (1) (2)

- ・ リソースパーソン

教員名 (専門分野) 連絡先: Email アドレス

1. 長岡 広香 (緩和医療)

2. 瀨野 淳 (総合診療、緩和医療、在宅医療)

- ・ 教科書

書名: 新版 がん緩和ケアガイドブック

監修: 日本医師会 出版社: 青海社 ISBN: 978-4-902249-89-7 価格: 2,500 円

コメント: 非がん疾患も含めて緩和ケアの考え方、具体的な薬剤の使い方が簡潔にまとめられている。

書名:いのちの終わりにどうかかわるか

編集:木澤 義之/山本 亮/浜野 淳 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-03255-1

価格:4,320 円

コメント:エンドオブライフ患者へのかかわり方の知識とスキルを網羅し、まとめた1冊。

・ その他の学習リソース

厚生労働省 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 e-learning

URL <https://peace.study.jp/pcontents/top/1/index.html>

コメント:「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」に則り実施される緩和ケアの知識を習得するためのオンライン学習サイト

15 加齢と老化

・ リソースパーソン

籠橋克紀(准教授)

檜澤伸之(教授)

石井幸雄(教授)

佐藤浩昭(教授)

森島祐子(准教授)

中澤健介(講師)

際本拓未(講師)

山田英恵(講師)

卒業試験と卒業認定要件

7-1 卒業試験の位置付け

医学群医学類の卒業時点での到達目標は、基本的臨床能力及び基礎的研究能力をそなえた医師である。この目標に向かって学生は、人間個体・地域・社会あるいは人類全体の医学上の問題を正しくとらえ、自ら解決するために必要な基本的知識、技能及び態度・習慣を身につけることが要求されている。卒業試験は、この達成度を評価することを主目的とするものである。

7-2 出題範囲

試験の範囲は医学群医学類の専門教育科目全体である。

7-3 試験方法

試験は**総合試験（計3回）**と、総括講義の計20コースに対応する**総括試験**の2つに大別され、別に定める時間割表の日程で実施する。

7-4 卒業認定要件

M6修了に必要な以下の単位を全て取得していること。

- 1) 医学総括
- 2) 医療概論V
- 3) -1 医学専攻の学生
 - ・M6 クリニカル・クラークシップ (Phase II B)
 - ・アドヴァンスト・エレクティブズ
- 3) -2 新医学専攻の学生
 - ・研究室実習

<参考>

医学総括単位認定要件

1. Post-CC OSCE に合格していること
2. 原則として、総括講義に2/3以上出席していること。

(オンライン講義の出席の扱いについては、5ページ参照)

医学総括単位認定基準

原則として、総括試験と3回の総合試験の結果に基づく総合総括得点において、平均60点以上かつ平均点-2SD以上であること。

上記の卒業認定要件を満たさずに留年した場合には、医学総括は前年度に合格していても再履修しなければならない（持ち越し不可）。

M6 カリキュラム
2020 年度

第 42 回生用
編入学 16 回生用
2020 年 5 月発行
筑波大学医学類
